

第三十回 衆議院議事速記錄第十三號

大正二年三月二十二日(土曜日)午後一時九分開議

議事日程 第十四號 大正二年三月二十二日

午後一時開議

第一 酒造稅法中改正法律案(衆法第四十一號) (武藤金吉君外三名) 第一讀會

第二 酒造稅法中改正法律案(衆法第四十二號) (武藤金吉君外三名) 第一讀會

第三 社寺境内地下戻ニ關スル法律案(福井三郎君外八名) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 水先法中改正法律案(井上敏夫君外三名) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 東方調查局設置ニ關スル建議案(伊東知也君提出) 第一讀會

第六 國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案(村松龜一君提出) 第一讀會

第七 官營製材事業廢止ニ關スル建議案(岩本平藏君提出) 第一讀會

第八 田畑地價修正ニ關スル建議案(吉田虎之助君外三名) 第一讀會

第九 酒類釀造試驗所増設ニ關スル建議案(武藤金吉君外三名) 第一讀會

第十 鐵道速成ニ關スル建議案(佐々木文一君外二名) 第一讀會

第十一 飛驒鐵道速成ニ關スル建議案(佐々木文一君外二名) 第一讀會

第十二 鐵道建設ニ關スル建議案(長崎實君外一名) 第一讀會

第十三 結核豫防ニ關スル建議案(丸尾光春君外四名) 第一讀會

第十四 朝鮮ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案(根本義顯君提出) 第一讀會

第十五 樺太漁業制度改正ニ關スル建議案(木下成太郎君外四名) 第一讀會

第十六 教員檢定委員會ニ關スル建議案(柏原文太郎君外四名) 第一讀會

第十七 野岩羽鐵道建設ニ關スル建議案(山下義雄君外七名) 第一讀會

第十八 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修君外二名) 第一讀會

第十九 鐵道建設ニ關スル建議案(川原茂輔君外八名) 第一讀會

第二十 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君外四名) 第一讀會

第二十一 港灣政務統一ニ關スル建議案(西村丹治郎君外一名) 第一讀會

第二十二 陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案(石黑磐君外三名) 第一讀會

第二十三 信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案(野喜平太君外四名) 第一讀會

第二十四 (特別報告第三十六號)小湊村郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十五 (特別報告第三十七號)求名村三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十六 (特別報告第三十八號)坂部村郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十七 (特別報告第三十九號)大崎町無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第二十八 (特別報告第四十號)新宿村郵便局電信架設置ノ請願 (委員長報告)

第二十九 (特別報告第四十一號)八川村郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第三十 (特別報告第四十二號)高田區裁判所八木出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第三十一 (特別報告第四十三號)柳生村ニ登記所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第三十二 (特別報告第四十四號)福島區裁判所北川内出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第三十三 (特別報告第四十六號)稻垣村登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第三十四 (特別報告第四十七號)天鹽村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第三十五 (特別報告第四十八號)古川區裁判所金成出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第三十六 (特別報告第四十九號)山陰鐵道大森支線建設ノ請願 (委員長報告)

第三十七 (特別報告第五十號)廣島江津間鐵道速成ノ請願外一件 (委員長報告)

第三十八 (特別報告第五十一號)湖西鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第三十九 (特別報告第五十二號)壽都黒松内間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第四十 (特別報告第五十三號)矢道木次大東間輕便鐵道速成ノ請願 (委員長報告)

第四十一 (特別報告第五十四號)森大沼驛間鐵道線路變更ノ請願 (委員長報告)

第四十二 請願 (特別報告第五十六號) 松澤村郵便局設置ノ (委員長報告)

第四十三 (特別報告第五十七號) 神町無集配郵便局設置ノ (委員長報告)

第四十四 (特別報告第五十八號) 上永野村無集配三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ始メマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(第二號) 大正元年度歳入歳出總豫算追加案

(特第二號) 大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(第一號) 大正二年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號) 大正二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第一號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一政府ヨリ提出セラレタル答辯書左ノ如シ

支那外交ニ關スル質問(牧野外務大臣)

大正二年三月二十二日 内閣總理大臣伯耆山本權兵衛

衆議院議長大岡育造殿

移牒

衆議院議員田中善立君提出支那外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

大正二年三月十四日

外務大臣男爵牧野伸顯

衆議院議長大岡育造殿

衆議院議員田中善立君提出ニ係ル支那外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書

差進候也

(別紙)

衆議院議員田中善立君ノ提出ニ係ル支那外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一政府ハ支那領土ノ保全ヲ以テ支那ニ關スル外交ノ根本政策トシ之カ實行ノ爲

諸外國トノ條約ニ基キ隨時必要ノ措置ヲ執ル方針ナリ

一英國ノ西藏ニ對スル又露國ノ蒙古ニ對スル問題ハ目下關係國ニ於テ交渉中

ニ屬シ帝國政府ハ茲ニ之ヲ論議スルコトヲ欲セス

一支那ニ於ケル布教ノ件ハ明治四十四年一月三十一日當時ノ外務大臣カ衆

議院ニ於テ松本君平君ノ質問ニ對シ答辯シタル通ノ事實ニシテ其後尙交渉

中ニ屬シ未タ解決ヲ視ルニ至ラサルハ遺憾トスルトコロナリ

一貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

刑事略式手續法案

一貴族院ヨリ回付セラレタル本院提出案左ノ如シ

運河法案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

織物消費稅徵收猶豫ノ擔保ニ關スル建議案

提出者 小林 源藏君 武藤 金吉君 田中 隆二君

若杉 喜三郎君 粕谷 義三君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

南洋航路ニ關スル質問

提出者 小 西 和君 外一名

一議員ヨリ撤回セラレタル議案左ノ如シ

酒造稅法中改正法律案

提出者 大西 五一郎君

酒造稅法中改正法律案

提出者 大西 五一郎君

一去二十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

不動產登記法中改正法律案外一件

横田 千之助君 工藤 吉次君 佐野 喜平太君

清水 市太郎君 岡田 榮君 高木 益太郎君

野村 嘉六君 村松 龜一郎君 花井 卓藏君

會計検査院法中改正法律案外一件

鈴木 巖君 岸本 賀昌君 兒玉 亮太郎君

鈴木 永 太君 田中 敷之助君 高木 正年君

鈴木 倉次郎君 小林 勝民君 秋田 清君

鐵道抵當法中改正法律案

漆 昌 巖君 田中 隆三君 白川 友一君

肥後 靜雄君 小出 五郎君 有森 新吉君

川合 直次君 渡邊 國重君 高野 金重君

國稅徵收法中改正法律案

白石 直治君 根岸 崐太郎君 島田 俊雄君

遠藤 良吉君 山本 七朗君 福岡 精一君

中村 啓次郎君 瀬戸山 清彦君 加藤 新次郎君

小坂 順造君 牧野 彦太郎君 中小路 與平治君

市川 文藏君 黒須 龍太郎君 矢島 八郎君

神藤 才一君 杉山 東太郎君 早速 整爾君

府縣稅及市町村稅制限ニ關スル建議案

石 黒 馨君 志々目 藤彦君 熊谷 五右衛門君

高鍋 篤郎君 小山 谷藏君 柴田 源左衛門君

荒川 五郎君 半谷 清壽君 有田 溫三君

明治神宮建設ニ關スル建議案外一件

中倉 万次郎君 粕谷 義三君 清 峯 太郎君

原田 十衛君 井上 篤太郎君 加藤 勝彌君

村井 善四郎君 恆松 隆慶君 堀切 善兵衛君

田中 善立君 鈴木 梅四郎君 増田 義一君

片岡 直温君 藏原 惟郭君 木村 良君

横田 孝史君 三輪 信次郎君 星野 錫君

豫算編成様式改正ニ關スル建議案

小林 源藏君 福井 三郎君 田村 順之助君

丸山 豊治郎君 松城 兵作君 紫安 新九郎君

奥田 柳藏君 鈴木 寅彦君 森丘 覺平君

警視廳廢止ニ關スル建議案

川原 茂輔君 大島 寛爾君 岩崎 勳君

光森 徳治君 林 毅 陸君 村松 恆一郎君

山田 珠一君 黒須 龍太郎君 高野 金重君

鐵道建設ニ關スル建議案外一件

西谷 金藏君 濱本 義顯君 米田 穰君

高嶺 朝敏君 太田 直次君 吉田 圓助君

奥田 柳藏君 眞館 貞造君 竹村 欽次郎君

戦死者及戦病死者ヲ地方神社ニ合祀ニ關スル建議案

米田 穰君 飛岡 卯一郎君 増田 穰三君

岩本 平藏君 村田 虎次郎君 田中 左司馬君

石田 孝吉君 國光 五郎君 中 辰之助君

北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案

東 武君 堀内 啓治君 樋口 典常君

申本 康三君 高橋 直治君 小 西 和君

淺羽 靖君 井上 廣居君 才賀 藤吉君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

港灣政務統一ニ關スル建議案委員會

委員長 藏内 治郎作君 理事 守屋 此助君

委員 石 黒 磐君 理事 野村 嘉六君

一帯任委員ノ補關選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第八部豫算委員 岩崎 總十郎君(日向輝武君補關)

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一及第二ハ關聯シタル議案ヲ

ゴサイマスカラ、一括シテ議題トナスニ御異議ナシト呼ブ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括シテ議題ト致シマス、提出者武藤金吉

第一 酒造稅法中改正法律案(衆法第四一號)(武藤 第一讀會)

金吉君外三名提出

酒造稅法中改正法律案

酒造稅法中左ノ通改正ス

第六條中「三月」ヲ「五月」ニ改ム

附則

本法ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二 酒造稅法中改正法律案(衆法第四二號)(武藤 第一讀會)

金吉君外三名提出

酒造稅法中改正法律案

酒造稅法中左ノ通改正ス

第八條第二項ヲ左ノ如ク改ム

酒類ノ造石數ヲ査定スルハ容器ノ容量ニ依ル但シ清酒ニ限り命令ノ定ム

ル所ニ依リ査定石數百分ノ二以內ノ滓引減量及査定石數百分ノ二以內ノ

貯藏減量ヲ控除スルコトヲ得

附則

本法ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○根本正君 是ヨリ決議第五分科會ヲ開キマスカラ、委員ノ諸君ハドウカ御出席ヲ

願ヒマス

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 酒造稅法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ説明ヲ致シマス、此第一ノ

日程ニ載テ居ル方ノハ、酒造稅法ノ第六條中三月ヲ五月ニ改ムル、附則ノ方ヲ本法

ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス——此酒造稅ハ一箇年四期ニ納期ガ分レマシテ

第三第四ノ納期ハ年ノ二月及三月ト連續シテアルデアリマス、丁度二月三月ハ酒造家

ニ取リマシテハ釀造ノ具量中デアリマシテ、原料ノ購入勞銀ノ支拂等ニ多額ノ資金ヲ

支拂フ時期デアリマシテ、此二期ニ此酒造稅ヲ拂フト云フコトハ、頗ル此酒造業者ニ

取リマシテ困難デアルノミナラス、斯業ノ發達ヲ阻害シテ國庫ノ歳入ヲ傷ケル憂ナシトシ

ナイ譯デアリマス、故ニ四期ノ納期ヲ前段ノ如ク繰下ゲテ、而シテ資金ノ流通ヲ圓滑ナラ

シメテ、又稅源ノ涵養ニ致シタイト云フノガ第一案ノ趣意デアリマス、第二案ハ同稅法

中ノ第八條第二項ヲ「酒類ノ造石數ヲ査定スルハ容器ノ容量ニ依ル但シ清酒ニ限り

命令ノ定ムルトコロニ依リ査定石數百分ノ二以內ノ滓引減量及査定石數百分ノ二

以內ノ貯藏減量ヲ控除スルコトヲ得」附則ハヤハリ前段同様デアリマス、是ハ此清酒ハ貯

藏致シテ居リマスルト、確ニ政府ノ調査ニ依リマシテモ、百分ノ二ト云フモノハ常ニ減

テ居ルデアリマス、然ルニ此減シテ居ルモ始終此稅ヲ出シテ居ルト云フコトニナラテ居ル

ハ、如何ニモ不當デアリマスカラ、此稅法ヲ右様ニ改正シタイト云フノガ本案提出ノ理

由デアリマス、既ニ毎年ノ議會ニモ提出ニナリマシテ、政府ハ全然贊成ハ致シテ居リマセヌ

ケレドモガ、本院等ハ通過致シテ居ル案デアリマスカラ、宜シク御審議ノ上協賛アラントラ

願ヒマス

○松田源治君 本案ハ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントラ望ミマス

○議長(大岡育造君) 本案ハ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ其ノ如ク決シマス

○中倉万次郎君 是ヨリ明治神宮建設ニ關スル建議案外一件ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、許可ヲ乞ヒマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 許可ヲ致シマス

○中倉万次郎君 委員ノ諸君ハ委員會ニ御出席ヲ願ヒマス

○松田源治君 此場合日程變更ノ緊急動議ヲ起シタイ、ソレハ政府提出ノ非訟事件手續法中改正法律案、ソレカラ不動産登記法中改正法律案、此兩案ヲ日程ニ上ホセ第一讀會ヲ開キ委員長ノ報告ヲ聽キ併セテ審議ヲ致シタイと思ヒマス

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ松田君ノ動議ノ如ク日程變更ハ成立チマシタ、花井卓藏君

不動産登記法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔法學博士花井卓藏君登壇〕

○法學博士花井卓藏君 不動産登記法中改正法律案、非訟事件手續法中改正法律案委員會ノ經過並ニ結果ヲ報道致シマス、本案ハ事務ノ簡捷、並ニ手續ノ簡易ト云フコトヲ目的トシテ改正セラレタルトコロノデアリマシテ、其要點ヲ目錄的ニ御報道致シマスレバ、第一ニハ登記簿用紙ノ區分數ヲ減少シタルコト、第二ニハ數箇ノ不動産ノ目的トスル先取權質權抵當權ノ登記ニ付共同擔保目録ノ制ヲ定メタルコト、第三ニ建物ノ登記ニ其敷地ノ地目及段別又ハ坪數ノ記載ヲ要セザルコト、爲シタルコト、第四ニ行政區畫ノ字又ハ其名稱ノ變更アルモ、變更ノ申請又ハ囑託ヲ要セザルコト、爲シタルコト、第五ニ行政區畫又ハ字ノ變更ニ伴フ土地ノ番號ノ變更ハ、職權ヲ以テ其登記ヲ爲スベキコト、爲シタルコト、第六公署ガ不動産ニ關スル權利ヲ取得シタル場合ニモ、登記ヲ囑託シ得ルコト、爲シタルコト、第七代位登記ヲ爲シタルモノノ範圍ヲ擴張シタルコト、此點ニ付キマシテハ擴張ノ範圍ヲ明カニ致シテ置キタイト存シマスルガ、其一ハ滯納ノ處分ヲ爲ス官廳又ハ公署、其二ハ河川ノ區域ヲ認定スル地方行政廳、其三ハ土地收用法ノ起業者デアリマス、第八ハ登記ノ錯誤又ハ遺漏ガ登記官吏ノ過誤ニ出デタルトキハ、職權ヲ以テ更正登記ヲ爲スベキコト、爲シタルコト、第九ハ管轄邊、又ハ許スベカラザル登記ノ職權ヲ以テ抹消スベキ手續ヲ定メタルコト、第十ハ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ作成手續ヲ簡易ナラシメタルコト、第十一ハ土地臺帳謄本備付ヲ廢止シタルコト、凡此十一ノ點ニ於キマシテ改正ヲ行ヒマシテ法文ノ上ニ於キマシテハ通シテ二十數條ノ多キニ涉リ居リマス、各條文ニ付キマシテ一々説明ヲ要スベキ是ハ相

當ニ必要ナル法律案デアリマスケレドモ、時ヲ尊ビマスル趣旨ニ於キマシテ、唯今讀上ケマシタル十一ノ點ニ於テ御諒知ニ相成ルコト、存シマスカラシテ、條文各自ニ付キマシテノ報道ハ略シマス、非訟事件手續法中改正法律案ハ、不動産登記法中改正法律案ニ伴フ整理ノ關係デアリマスカラシテ、是ハ別段ニ説明ハ要リマセヌ、而シテ委員會ニ於キマシテハ慎重ナル審議ガ盡サレマシテ、野村嘉八君ヨリハ第四十一條ニ左ノ一項ヲ加フト云フ修正案ガ出マシタ、其條文ハ「登記原因ガ隱居又ハ入夫婚姻ニヨル家督相續ナルトキハ申請書ニ隱居者又ハ女戸主ノ承諾書ヲ添付スルコトヲ要ス」ト云フデアリマス、又佐野喜平太君ヨリハ第十七條ニ左ノ一項ヲ加フ「既ニ質權又ハ抵當權ノ設定アル物件ニ對シ重ネテ抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ第二債主ノ承諾書ヲ添付スルコトヲ要ス」ソレカラ高木益太郎君ヨリハ、非訟事件手續法中改正法律案ノ第五十一條ノ六ノ但書、其錯誤又ハ遺漏ガ登記所ノ過誤ニ出デタルトキハ此限リニ在ラス」ト云フ一項ヲ削ルト云フノ意見ガ出タノデアリマス、何レモ相當ナル理由アルモノ、如クニ承リマシタ、然ルニ三案共ニ提出者ト政府委員トノ間ニ意見ノ交換ヲセラレタル末、或モノハ他日ノ立法ヲ期スル、或モノハ施行細則ニ讓ルト云フ事柄ア、自ラ修正案ヲ撤回セラレタノデアリマス、委員會ノ經過ハ斯ノ如クニシテ、結果ハ全會一致ヲ以テ可決スベキモノトスルニ定ツタノデアリマス、此段ヲ報道ヲ致シマス

○松田源治君 本案ハ兩案トモ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定セラレシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 松田君發議ノ通り本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ可決確定スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシ認メマス、因テ兩案トモ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第四、水先法中改正法律案委員長野添宗三君

〔第二ハドウデスカ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 日程第三、社寺境内地下戻ニ關スル法律案、委員長關信之介君

〔開信之介君登壇〕

○關信之介君 社寺境内地下戻ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ單簡ニ、御報告致シマス、本案ハ明治二年社寺上地處分以後ニ於テ兩度三元ノ境内地下ト稱スルモノ、幾分ラ或省令ナリ達ノタメニ、政府ガ故ナク官地ニ編入致シマシタノラ其境内地及境外地ヲ社寺ニ下戻シテ、而シテ社寺ヲシテ今日ノ窮狀ヲ脱セシムルト云フタメニ社寺ニ救濟ヲ與フルトコロノ法案デアリマシテ、此委員會ハ過ル十八日ニ開キマシテ、内務省ノ政府委員及農商務省ノ政府委員ニ對シマシテ、各委員ヨリ數回ノ質問應答ヲ

第二 社寺境内地下戻ニ關スル法律案(福井二郎君外八名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會(確定議)

〔開信之介君登壇〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシ認メマス、因テ兩案トモ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス、日程第四、水先法中改正法律案委員長野添宗三君

〔第二ハドウデスカ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 日程第三、社寺境内地下戻ニ關スル法律案、委員長關信之介君

〔開信之介君登壇〕

○關信之介君 社寺境内地下戻ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ單簡ニ、御報告致シマス、本案ハ明治二年社寺上地處分以後ニ於テ兩度三元ノ境内地下ト稱スルモノ、幾分ラ或省令ナリ達ノタメニ、政府ガ故ナク官地ニ編入致シマシタノラ其境内地及境外地ヲ社寺ニ下戻シテ、而シテ社寺ヲシテ今日ノ窮狀ヲ脱セシムルト云フタメニ社寺ニ救濟ヲ與フルトコロノ法案デアリマシテ、此委員會ハ過ル十八日ニ開キマシテ、内務省ノ政府委員及農商務省ノ政府委員ニ對シマシテ、各委員ヨリ數回ノ質問應答ヲ

ナシマシタ結果、政府ニ於テハ本案ニ反對ノ意見ヲ表サレマシタケレドモ、各委員ハ此法案ノ中甚ダ其字句ノ事實ニ副ハナイトコロガアリマスカラ、ソレヲ修正致シマシテ、而シテ議員一致ヲ以テ可決スルコトニナリマシタ次第ゴザイマス、而シテ其修正ヲ致シマシテハ、諸君ノ御手許ノ御配付致シマシタ通り、第一條ノ冒頭ノ「從來」ノ二字ヲ削リマシテ、而シテ社寺ノ下ニ「舊」ノ一字ヲ入レ、境内ノ下ニ「及境外」ト致シマシタ、「社寺上地處分其ノ他ノ處分」ト云フノ「社寺上地處分ニ依リ」其ノ他ノ處分ト云フコトヲ削除致シマシタ次第ゴザイマス、是ハ「從來」ト云フヤウナコトハ法文ト致シマシテハ誠ニ穩カテナイト云フコトデアリマシテ、又社寺境内地ト致シマシテ、今日ノ境外地モ籠ルト云フコトハ甚ダ不穩當ナモノデアリト云フコトカラ致シマシテ、明カニ致シタ方ガ宜イト云フコトカラ致シテ、唯今ノ如ク修正ヲ加ヘタ譯デアリマシテ、其法文其モノ、意味ニ於テハ毫モ異ナルコトハナイデアリマス、ソレカラ其附則ノ末文ノ本法公布ノ日ヨリ云々ト云フ文字ハ是ハ蛇足デアルト云フコトカラ、此條項モ皆キマシタ次第ゴザイマス、右様ナ次第デアリマスカラ、本件ハ社寺ヲ救済スルニハ最モ必要ナルトコロノ法律デアリマスカラ、ドウカ諸君ニ於テモ全會一致ヲ以テ御贊成アラント希望致シマス

○福井三郎君 唯今委員長ノ報告ニナリマシタ案ハ、本員ノ提出案トナッテ居リマスルケレドモ、實ハ各派有志議員數名ノ提出テ、各派贊成議員百有餘名ノ連署ヲ提出ニナッテ居ル案デアリマス、偶々本員ノ提出者中ノ冒頭ニ書イテアッタカラ、本員ノ提出トハナッテ居ルデアリマスガ、必シモ本員ノ提出ト云フ次第アハゴザイマセヌ、而シテ案ノ提出ノ理由ハ提案ノ當時申述ベテ置キマシタカラシテ、諸君ガ御承知下サタデアラウト思ヒマス、而シテ委員會ニ於テ丁寧ナル御審査ヲ經マシテ、唯今委員長ヨリ修正可決セラレタト云フ報告ヲ受ケタ次第デアリマスガ、自分等勿論其修正可決ニ同意ヲ表スルモノデアリマス、就テハ滿場ノ諸君モ特ニ御差支ノナイ限リハ、ドウゾ此案ニ御贊成下サレントコトヲ切ニ希望致シマス（贊成）ト呼フ者アリ）ドウゾ御採決ヲ望ミマス

○政府委員橋本圭三郎君登壇）
○政府委員（橋本圭三郎君） 本案ハ提出者ヨリ御熱心ナル御説明ガアリ、又唯今福井君カラモ之ニ裏書ラシテイロ、御説モアツタデアリマスガ、政府ハ残念ナガラ此案ニハ反對ヲ表スルモノデアリマス、其第一ノ理由ハ、此社寺ノ土地ト云フコトニ付テハ維新草創ノ際、イロ、政府ニ於テモ間違ガアッタデアラウト云フコトニ付テ、其後數多ノ手續ヲ以テ之ヲ救済スルコトニ努メタデアリマス、サウシテ其手續ナルモノハ既ニ全部終了シテ居ルデアリマス、是ガ第一ニ反對ノ理由デアリマス、ソレカラ第一ノ理由ハ明治三十二年以來法律ノ規定ニ依リマシテ此差支ナイ所ノ土地ハ社寺ニ拂戻シテ居ルデアリマス、ソレテ其手續ニ依リマシテ社寺ニ賣拂ヒマシタ所ノ土地ヲ申シマスルト、四十四年度未迄ニ一万四千町歩拂下ゲマシテ、其價格ハ五百七方圓ニナッテ居ルデアリマス、一方ニ於テハ金額ヲ出サセテ政府カラ拂戻ラシテ居ルモノ、今度ノハ此法律ハ唯與レルト云フデアリマスカラ、非常ニ不權衡ヲ生ズルト云フコトニナル、ソレカラ第三ノ若シ此案ガ通過シマシタ時、政府ニ於テ數千萬圓ノ財產ヲ失フト云フコトニナリマス、ソレテ本案ニハ此三ノ理由ニ依ッテ不贊成デアリマス
○議長（大岡育造君） 本案ハ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ諮リマス、本案ノ二讀會ヲ開ク

ベシト云フニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數
○議長（大岡育造君） 多數——依テ本案ハ二讀會ヲ開クベシト極リマシタ
○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長（大岡育造君） 恆松君ヨリ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ決セラレンコトヲ望ムト云フ動議ガ出マシタ、之ニ御異議アリマセヌカ
○議長（大岡育造君） 御異議ガナイト認メマス、依テ直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略致シマス
社寺境内地下戻ニ關スル法律案 第二讀會（確定議）
○議長（大岡育造君） 御異議ガアリマセヌカラ確定致シマシタ、日程第四水先法中改正法律案委員長野添宗三君
第四 水先法中改正法律案（井上敏夫君 第一讀會ノ續（委員長）外三名提出）
○野添宗三君 水先法中改正法律案ハ、委員會ニ於テ過日提出者安藤新太郎君ガ本議場ニ於テ御述ベニナリマシタル理由ヲ是ナリト認メ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス
○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長（大岡育造君） 御異議ガナイト認メマス、依テ直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決スルコトニ致シマス
水先法中改正法律案 第二讀會（確定議）
○議長（大岡育造君） 御異議ガナイト認メマス、依テ確定致シマシタ、日程第五東方調査局設置ニ關スル建議案伊東知也君
第五 東方調査局設置ニ關スル建議案（伊東知也君提出）
東方調査局設置ニ關スル建議案
東方調査局設置ニ關スル建議案
東方ノ國情調査ニ關スル特別機關ヲ設ケ在朝在野ヲ問ハス廣ク其ノ事情ニ精通セル人土ヲ集メ完全ナル調査機關ヲ設ケ以テ我カ國對東方政策ノ根底ヲ確立セムコトヲ望ム
右建議ス

社寺境内地下戻ニ關スル法律案 第一讀會ノ續（委員長）
○議長（大岡育造君） 御異議ガアリマセヌカラ確定致シマシタ、日程第四水先法中改正法律案委員長野添宗三君
第四 水先法中改正法律案（井上敏夫君 第一讀會ノ續（委員長）外三名提出）
○野添宗三君 水先法中改正法律案ハ、委員會ニ於テ過日提出者安藤新太郎君ガ本議場ニ於テ御述ベニナリマシタル理由ヲ是ナリト認メ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス
○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長（大岡育造君） 御異議ガナイト認メマス、依テ直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決スルコトニ致シマス
水先法中改正法律案 第二讀會（確定議）
○議長（大岡育造君） 御異議ガナイト認メマス、依テ確定致シマシタ、日程第五東方調査局設置ニ關スル建議案伊東知也君
第五 東方調査局設置ニ關スル建議案（伊東知也君提出）
東方調査局設置ニ關スル建議案
東方調査局設置ニ關スル建議案
東方ノ國情調査ニ關スル特別機關ヲ設ケ在朝在野ヲ問ハス廣ク其ノ事情ニ精通セル人土ヲ集メ完全ナル調査機關ヲ設ケ以テ我カ國對東方政策ノ根底ヲ確立セムコトヲ望ム
右建議ス

(伊東知也君登壇)

○伊東知也君 東方調查局設置ニ關スル建議案ヲ私ヨリ提出致シマシタ、簡單ニ其理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、東方ト申シマスルト、支那ヲ中心ト致シマシテ北ハ西伯利ヨリ南ハ海峽殖民地、及南洋諸島ニ至ル、亞細亞洲ノ過半ヲ含ム意味デゴザイマス、賢明ナル諸君ニ對シテ喋々ト其必要ナル理由ヲ申述セルモナクハコトデアリマスガ、將來我國ノ根本問題ヨリシテ、東方ノ調査ト云フコトハ是非トモ出來得ル限リノ力ヲ揮フテヤラナケレバナラヌコトデアルト私ハ考ヘル、政府ニモソレノ外務省ナリ其他イロノ機關ガ設ケラレテゴザイマセウガ、私ガ何十年ノ間支那其他西伯利地方、及南洋諸島ヲ放浪致シマシタ結果、ソレ等ヨリ考ヘテ見マスルト、是マデモサウデアアル、現在モサウデアアル、政府ノヤリ方ト云フモノハ殆ド成ツテ居ラヌト斷言スルコトヲ憚ラヌデアアル、諸君、重モナル二三ノ實例ヲ舉ゲテ諸君ノ御清聴ヲ煩シタイト思フ、彼ノ日露戰等以前ノ露西亞ガ東清鐵道ヲ架ケルト云フ其當時ハ、露西亞ノ鐵道ト云フモノハ「マダ」ストロチエンスク「マデ、其途中カラ分岐シテ旅順大連ノ方ニ來ルト云フ計畫ガ明カニナツテ居ルニモ拘ラス、日本ノ外務省其他ノ當局者ハ何處カラ岐カレルノカ、ドウ云フ方法ニ依ツテ鐵道ヲ架ケルノカト云フコトハ、殆ド五里霧中デアッタノデゴザイマス、其當時私ハ西伯利ノ「ブラゴエチエンスク」ニ居ツテ、吾ノ同志ノ者トイロノ研究シテ當局者ニ報告シタコトガアル、其證據モ持ツテ居ル、又彼ノ現在ニ於テ露西亞ハ東方經濟ノ根據地トシテ、左モ有名ナル哈爾濱市街ノ建設ニ著手シテ、殆ド過半出來上リカ、ツダニモ拘ラズ、日本政府ト云フモノハソレヲ知ラナクッタデアアル、是モ吾ノ同志ノ一人ガ偶然ニモ滿洲ヲ旅行シテ、其處ニ行キ會ヒ、驚イテ之ヲ當局者ニ報知シタ實例ガアル、是ハ現ニ私共彼ノ地ニ參リマシテ、現在ノ總領事本多熊太郎君ガ現ニ證明サレタ所デアリマス、斯ノ如ク北方ニ於テ露西亞ノ施設露西亞ノ設備ハ著々歩ヲ進メルニモ拘ラス、其當時ノ政府ノ措置ト云フモノハ殆ド調査モ何ニモ實行セラレテ居ラヌデアリマス、露西亞ハ其當時ヨリ滿洲里ト云フ一冊ノ本ニモ、調査ニ調査ヲ重ネテ、一部ノ本ヲ拵ヘルニモ三十萬圓ト云フ大金ヲ費シテ五六年モカ、ツテ、或ハ技師ヲ送り、專門家其他ノ學者政治家ヲ滿洲地方ニ差遣シテ、調査ニ調査ヲ重ネテ一部ノ本ニ三十萬圓モカケテ作ツテ居ル、是ハ私ガ諸君ニ向ツテ證明スルマデモナク諸君モ既ニ御承知ノコトデアラウト思フ、北ノ方ハ斯ノ如キ有様デアッタガ、幸ヒニシテ日露戰等ハ我國民ノ忠勇ナル活動ニ依テ勝利ヲ得マシタガ、同等ノ人種トデアッタナラバドウデアッタカト、實ニ私ハ今更紀憂ニ堪ヘナイデアアル、北方ニ於テモ然リ、又支那ニ於ケル所ノ領事館外務省ナドノ働キト云フモノハ、實ニ鈍イモノデアツテ、殆ド調査機關ナドハ成ツテ居ラヌト私ハ斷言スルヲ憚ラヌデアアル、私ハ七八年間南清方面ニ居リマシタガ、而モ日本人ナドノ餘リ行カナイ地方ニ往ツテ、領事館ノ在ル地方ニ出テ來ルト、領事館ノ先生達ハ非常ニ悅ビテ歡迎シテ、ドウカ何カ面白イコトハナイカ開カシテ呉レ、或ドドウ云フ方面ハドウ云フ地ニナツテ居ルカ、何ハドウ流レテ居ルカ、山ハドウツテ居ルカ、サウ云フヤウナ事マデモ領事館ノ先生ガ私共ノヤウナ旅行者ニ尋ネテ、ソレヲ一ノ材料トシテ、ソレヲ唯一ノ報告書類トシテ本省ニ送ツテ居ル、本省ハ之ヲ通商黨ニ送ツテモ、ニ魔ヤンク記載スル、餘リ滑稽アラカラ惡戯半分ニ二三嘘ノ事ヲ教ヘテヤッタラ、ソレヲヤハリ廳々シク事實トシテ出シ

テ居ル(嘘チヤア困ル)ト呼フ者アリ)實ニ斯ノ如キ滑稽ナコトガ幾ラモアル、實ニドウモ私ハ國家百年ノ爲メニ憂ヘルノデアアル、又支那ノ調査ナドハ今申シタ通り其實例ヲ舉ゲタナラバ、幾ラ饒舌デモ限リガナイデアアル、而モ支那以南——南方ニ向ツテノ有様ハドウデアアル、最モ諸君モ近頃必要ト認メテ居ルトコロノ、有利有望ト唱ヘテ居ル彼ノ護謨事業、南洋ノ護謨栽培事業、彼ノ護謨栽培事業ノ如キモ、外務省其他農商務省ナドモ殆ド等閑ニ附シ去ツテ居ラヌデアリマス、ソレヲヤハリ私共ノ仲間ノ一人ガ新嘉坡ノ方ニ往ツテ、護謨栽培事業ノ實ニ有利ナルコトヲ發見シ、サウシテ資本家ヲ募ツテ之ニ著手シタデアリマス、是ガ日本ニ於ケル護謨栽培事業ノ嚆矢デアリマス、サウ云フヤウナ工合ニ又安南東京地方ニ於テハ、或ハ米ノ栽培デアルトカ、或ハ馬尼拉ノ「ロープ」ノ原料タル判ノ草ガアル、ソレ等ハ非常ニ野生ガ多クテ、ソレヲ以テ繩トシテ造レバ非常ニ有利ナ事業デアアル、サウ云フ事ハ一向外務省ナドモ氣ガ附イテ居ラス、調べテモ居ナイデアアル、ソレモヤハリ民間有志私共ノ友人ノ一人ガ發見シテ、其事ニ現ニ著手シ、アルノデアリマス、精シク言フナラバ其事業及ヒ其人ノ名前ヲ申述ベテモ宜イノデスガ、私ハ省略シテ申上ゲマセウ、サウ云フ工合ニ事々物々、又北方デモ南方デモ——政府ハ北方ニ於テハ日露協約ガアリ、南方ニ於テハ日佛協約ガアルカラシテ、種々難多ナル所謂實業的方面ニ於ケル便宜ヲ得ラレルニ相違ナイノデアアルガ、事實ハ是ト反對デアツテ、現ニ安南地方ニ於ケル事業ノ如キハ佛蘭西政廳ノ爲メニ幾多ノ迫害ヲ受ケテ居ルノデアアル、而モ其當地佛蘭西ノ居留民ハイロノ實業家其他ノ連中ハ非常ニ同情シ、非常ニ驕傲シテ、是非共其事業ヲ共同シテヤラウト云フコトヲ申込テ、共同事業ヲヤツテ居ルモノアリマスガ、佛蘭西政廳ガ之ニ妨害ヲ加ヘルヤウナ態度ハ、日佛協約ニ依テ完全ニサウ云フコトハ取除ケラレテ居ラナケレバナラヌニ拘ラス、幾多ノ障礙幾多ノ妨害ト云フ日佛協約ニ背反シタルヤウナコトガ出來ルノデアアル、又日英同盟ト云フ非常ニ我國外交上ノ基礎ヲ爲スヤウナコトガアリマスガ、南清地方ニ於テ日英同盟ノ實ト云フモノハ果シテ備ハツテ居ルカドウカ、厦門汕頭或ハ福州其他ノ地方ニ於テ、英吉利ノ商入ト日本ノ商人ト云フモノハ、詰ラヌ所ニ衝突シテ常ニ背馳シタル行動ヲ執ツテ居ル、日英同盟ノ有様ナント云フモノハ、南清地方ノ内部ニ於テハ到底見ルコトノ出來ナイ有様ニナツテ居ル、之ヲ要スルニ畢竟皆政府ノ調査機關ガ不備不完ノ失態デアルト私ハ信ズルノデアリマス、或ハ陸軍省デアルトカ、或ハ農商務省デアルトカ、或ハ外務省其他諸省ガソレノ多少ノ調査方法ハヤツテ居ララシイ、ヤツテ居ルデモウガ、其機關ト云フモノガ不備デアツテ少シモ役ニ立タヌヤウナ報告バカリヤツテ居ル、而モ其報告タルヤ區々デアツテ、陸軍省ハ陸軍省ノ報告ヲスル、外務省ハ外務省ノ報告ヲスル、農商務省ハ農商務省ノ報告ヲスルト云フヤウニ區々ニナツテ、孰レニ付テ宜イカト云フコトハ殆ド判斷ニ苦ムヤウナ次第デアリマス、申スマデモナク今後我國ノ國是トシテ、我國立國ノ基礎トシテ、ドウシテデモ此亞細亞問題ト云フモノニ全方ヲ注ガナケレバナラヌト云フコトハ、諸君ニ向ツテ申上ゲル必要モナイコトデアリマス、ソレデ今日大ニ經費ヲ節減シテ國民ノ負擔ヲ輕クスルヤウナ場合デアリマスガ、此問題ケケハ如何ニ他ノ方デ儉約シテモ、是非共此際完全ナル調査機關ヲ設ケテ、朝野ノ人士ヲ網羅シテ調査局ナルモノヲ設置セラレントコトヲ、私ハ最モ急務ナリトシテ政府ニ建議スル次第デアリマス、願クハ賢明ナル諸君ノ充

分御賛成アラシコトヲ希望シマス(拍手起ル)

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 本案ヲ議長指名九名ノ委員付託ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモト認メマス、仍テ其如ク決シマス——日程第六、國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、村松龜一郎君

第六 國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案(村松龜一郎君提出)

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

思フ、然ルニ能ク見ルト智徳ヲ涵養スルトアル、政治上ノ智識及政治道徳ヲ涵養スルト云フコトガ含マレテ居ルノアル、政治上ノ道徳ト云フモノヲ涵養スルト云フ、其建議案ガ桂黨(笑聲起ル)中央俱樂部ヲ擴張シタルコロノ桂黨アル團體ヨリ出テ、サウシテ此案ガ通過スル——此院ニ於テ通過スルト云フコトハドウデアラウカ、私ハ之ヲ此院ニ於テ否決スルコトガ却テ政治的智徳ヲ涵養スルコトニナルト思フ(拍手起ル)勿論此案ハ今年初メテ出タノデアリ、例年出テ居ルノデアリマスケレドモ、昨年マデハ之ニ賛成スベキ案ニ相違ナイ、併ナガラ今年ハ本院ニ於テ否決スベキモノト思フノデアリ(「サウ云フ智徳カライケナイ」ト呼フ者アリ)諸君、私ガ一ノ例ヲ御話申シマス、米國ニ於テハ彼ノ黒奴即チ「ニグロ」ハ兵隊ニナルコトハ出来ヌ、又大官ニナルコトガ出来ヌノデアリマス、ソコテ黒奴ノ士官ガ士官ノ服ヲ被テ往來ト通ルト云フト本當ノ亞米利加ノ兵隊ハソレニ對シテ禮ヲシナイ、ソレデアリ「オレ」ハ士官デアリナイカ、士官ニ向テ禮ヲシナイト云フコトハ甚ダ不届テ奴デアルト言テ黒奴ノ士官ガ怒ル時分ニ、其兵隊ガ言フニハ、宜シイ「貴方」ノ軍服ト「貴方」ノ軍帽ト「貴方」ノ帶劔ヲ取テ此木へ御掛ケ爲サレバ、私ハソレニ對シテ禮ヲスル、敬禮ヲ致シマス、併ナガラ「貴方」ガソレヲ纏テ居テハ私ハ敬禮ヲ致シマスセト言ツタ話ガアリマス、ソレト同シヤウナ吾々ハ感ガアルカラシテ、是ハ此處ニ於テ滿場一致ヲ以テ否決スルコトガ宜カラウト私ハ思フ(拍手起ル)

○村松龜一郎君 議長

○議長(大岡育造君) 村松君

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

(「面白イ」ト呼フ者アリ拍手笑聲交々起ル)

○議長(大岡育造君) 花井卓藏君
○法學博士花井卓藏君 私ハ贊成ノ演説ヲ致シマス(拍手起)

○國民黨ノ未輩ハ下劣ナリト呼フ者アリ
○法學博士花井卓藏君登壇

○法學博士花井卓藏君 諸君、此建議案ニ付キマシテ反對ノ演説ヲ拜聽致シマシタ、又村松君ノ熱心ナル維持ノ御意見モ拜聽致シマシタ、私ハ本案ノ委員ニ付託セラレテ慎重ナル審議ヲ凝サレシメテ欲スルノ餘リ、此壇上ニ立ツコトニ相成ツタノデアリマス、建議案ニ掲ゲラレテゴザイマスル文字ニ御留意下サランコトヲ希望致シマス、此案ヲ否決スルト云フコトハ、直チニ建議案ニ映テ居リマスルニ文字ヲ否決スルト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、此建議案ニ舉ラレテゴザイマスル文字ハ如何ナルコトガ寫シ出サレテアルノデアリカト云フコトニ、深ク私ハ御留意ヲ願ヒタイノデアリマス、輕々ニ即決スルナドト云フコトハ、寧ロ立法部ノ面目ニ關スルト云フコトヲ私ハ信ズルノデアリ、國民ノ政治的智徳ヲ涵養スル爲毎年二月十一日ヲ以テ憲法發布ノ謝恩會ヲ起シ各學校ニハ學生ヲ又各市町村役場ニハ市町村民ヲ召集シ宏大無量ノ聖恩ヲ奉謝スル同時ニ憲法發布ノ勅語ヲ捧讀シ深厚ナル聖旨ノ存スル所ヲ講演シ以テ國民ヲシテ憲政ノ一日モ忽諸ニ付スヘカラサル所以ヲ會得セシムルハ目下ノ急務ト認ムト書イテアルノデアリマス、勅語ヲ捧讀ヲ致シマシテ聖旨ノ存スル所ヲ知ラシムルト云フコトハ、如何ナル人ノ主張ニ致シマシテモ否定スルコトハ私ハ出來ヌト思フノデアリ、案ノ提出者ガ其當ヲ得テ居ルヤ否ヤト云フコトヲタメニ、聖勅ヲ捧讀スルト云フコトヲ否定スルト云フコトハ、餘リニ熱シ過ギタル態度デナイカト思フノデアリ、(ヒヤ／＼)ト呼フ者アリ(新政黨ノ出シタル案アルト否トニ拘ラズ、新政黨ヨリ更ニ下リタル黨派ガゴザイマシテ、ツレガ出シタル案ト致シマシテモ、此案ハ贊成ヲシタイト思フノデアリマス)(ヒヤ／＼)ト呼フ者アリ(況今日ノ場合新政黨ハ固ヨリ感心致シマセヌガ(笑聲起ル)サリナガラ此新政黨ニ當リテ闘ハント欲スル一派ト雖モ、サウ威張ツテ已レノ思フコトハ總テガ正理デアッテ、已レノ反對スルトコロノモノハ皆非理デアルト云フコトヲ絶叫スル程ノ權利ハ私ハアルマイト思フ、冷靜ニ公平ニ、此問題ハ委員ニ付託セラレテ研究セラル、ト云フコトハ相當デアラウ、案ニ含まレテ居ル事柄ガ如何ニモ畏レ多キコトデアリマスカラシテ、私ハ新政黨ニ頼マレハ致シマセヌガ、此壇上ニ立ツテ公平ナル御考慮ニ訴ヘタイト思フノデアリマス)

○松田源治君 本案ハ村松君ノ提出ニ係リ、國民黨ノ相島君ガ反對致シマテ、花井君ノ贊成演説ガアリマシタガ、吾々ハ此案ヲ慎重ニ審議センガタメ、委員ニ移シマシテ研究シタイト思フノデアリマス(ヒヤ／＼)ト呼フ者アリ(依テ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス)

○議長(大岡育造君) 本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託致シマス、日程第七、官營製材事業廢止ニ關スル建議案、提出者岩本平藏君

第七 官營製材事業廢止ニ關スル建議案(岩本平藏君提出)

官營製材事業廢止ニ關スル建議案
官營製材事業廢止ニ關スル建議案

製材事業ハ性質上官營ト爲スニ不適當ナル而已ナラス國庫收入ノ上ニ於テ亦疑ハ

シク加之民業ヲ壓迫スルノ甚シキモノト認ムルヲ以テ速ニ廢止セラレムコトヲ望ム
右建議ス
(岩本平藏君登壇)

○贊成「ト呼フ者アリ拍手スル者アリ」

○岩本平藏君 諸君、私ハ本案提出者ト致シマシテ提出ノ理由ヲ說明シヤウト思ヒマス、大體ノ理由ガ此劇物ニ載ツテ居リマスノデ、至極短カイ時間ヲ藉リマシテ大要ノ理由ヲ述ベヤウト思フノデアリマス、大體此官營製材ナルモノハ何ガ故ニ惡イモノデアリカト申シマスレバ、是ガ一ツハ餘程此材木業ナルモノハ、緻密ナル注意ヲサウシテ多年ノ經驗ト、斯ウ云フモノヲ持ツテ居ラナケレバ完全ニヤルコトハ出來ナイノデアリ、ツレバ唯ノ役人ニ任カシテヤラセルト云フコトハ、是ハ第一ニ此材木業ヲ官營トスルノハイケナイト云フコトデアリ、一體此私ノ案ハ、今ノ官營製材所十何箇所カアルトコロノ官營製材所ヲ廢メルト云フケテハナイノデアリ、各林區署ニ於テ行フトコロノ官行伐木、此事業ヲモ全部廢メタイト云フ考デアルノデアリマス、此官營事業ガ抑々國家ノ經營上、是非之ヲ官營ニシナケレバナラスコトカ、若クバ之ヲ民業ニ移シタナラバ發達ヲシナイ、故ニ政府ガ一時之ヲ指導的ニヤルカ、若クバ國家ノ收入ヲ計ルガタメニ專賣的ニ此仕事ヲヤルカト云フコトガ、少クトモ濫リニト云フコトハ、是ハ餘リ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、政府ハ能ク其事ヲ調ベナクテ此官營事業ヲ始メタノハ、抑々彼ノ秋田ノ小阪ノ鑛山ノ彼ノ煙害ノタメニ枯レタ木ガ澤山出來タ、其モノヲ始末スルガタメニ彼處ニ製材所ヲ拵ヘタノガ是ガ始メデアッテ、決シテ初メカラニ此材木事業ヲ完全ナル仕事ナリトシテ政府ガ始メタノデアリナイノデアリマス、サウ云フ最初カラノ根柢ノ薄弱ナル事業デアルガタメニ、前ノ内閣ガ之ヲ一旦拂下ゲラスルト云フコトヲ提案ラシタガ、其當時ノ提案——其案ガ最モムツカシイトコロノ條件ヲ附ケテアッテ、一三ノ御用商人ニシカ入札ノ資格ガナイヤウニシタガタメニ、本院ニ於テツレテ否決シタト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリ、所ガ之ヲ完全ニ廢メテシマヘバ何デモナイ、デサウシテ何ガ故ニサウマテ廢メナケレバナラスカト云フト、此材木ノ仕事ハ一年ヤ半年ヲ以テ結了スルコトハ出來ナイ、數年若クハ十數年ニ亘ツテ之ヲ繼續的ニ仕事ガナツテ居リマスカラ、此豫算案ニ森林ノ收入トシテ掲ゲテアリマスケレドモ、此中ニハ澤山ノ官吏ヲ使ヒ、或ハ多大ノ資金ヲ要シテ居ル、現ニ森林ノ固定資本ニナツテ居ルモノモ約千二百萬圓バカリノモノヲ固定資本ニ使ツテ居ルノデアリ、其上ニ常ニ此材木業ニハ危險ガ伴フ、水ヲ利用スルニハ水害ガ伴フ、殊ニ此官營製材業ニ付テハ火事ガ往々アル、是ハ民間ニ於テヤルノト餘程其趣ガ違フ、材木業者ノ火事ノタメニ莫大ナル損失ヲスルコトガアル、現ニ昨年高野官林ニ於テモ製材材七千尺ノモ燒キ、ツレカラ森林モ五十町以上モ燒イタ、其損失ノ額ガ十萬圓ニモ近イモノヲ燒イテシマッタト云フコトニナツテ居ル、所ガ其燒イタトコロノ責任ガ漸ク其時ノ主任ニ奉書四ツ切リテ以テ、其職務怠慢ナリト云フ譴責一枚デアツレテ了ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ政府ガ直接ニヤルカラ、斯フ云フヤウナ多大ナル損害ヲ見ルト云フコトニナツテ居ル、故ニ吾々ハ斯フ云フヤウナコトハ政府ガ決シテ營ムモノデアナイト思フ、サウシテ一面ニ於テハ此何百萬圓ノ收入ニ掲ゲテアル、一面ニハ今ノヤウナ澤山ノ俸給ヲ取ルトコロノ枝手或ハイロ／＼ナ備トカ、サウ云フ者ガ澤山居リマスカラ、之ニ要スルトコロノ經費モ實ニ多大デアリマスカラ、サウ云フモノヲ差引イ

ト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデアリ、所ガ之ヲ完全ニ廢メテシマヘバ何デモナイ、デサウシテ何ガ故ニサウマテ廢メナケレバナラスカト云フト、此材木ノ仕事ハ一年ヤ半年ヲ以テ結了スルコトハ出來ナイ、數年若クハ十數年ニ亘ツテ之ヲ繼續的ニ仕事ガナツテ居リマスカラ、此豫算案ニ森林ノ收入トシテ掲ゲテアリマスケレドモ、此中ニハ澤山ノ官吏ヲ使ヒ、或ハ多大ノ資金ヲ要シテ居ル、現ニ森林ノ固定資本ニナツテ居ルモノモ約千二百萬圓バカリノモノヲ固定資本ニ使ツテ居ルノデアリ、其上ニ常ニ此材木業ニハ危險ガ伴フ、水ヲ利用スルニハ水害ガ伴フ、殊ニ此官營製材業ニ付テハ火事ガ往々アル、是ハ民間ニ於テヤルノト餘程其趣ガ違フ、材木業者ノ火事ノタメニ莫大ナル損失ヲスルコトガアル、現ニ昨年高野官林ニ於テモ製材材七千尺ノモ燒キ、ツレカラ森林モ五十町以上モ燒イタ、其損失ノ額ガ十萬圓ニモ近イモノヲ燒イテシマッタト云フコトニナツテ居ル、所ガ其燒イタトコロノ責任ガ漸ク其時ノ主任ニ奉書四ツ切リテ以テ、其職務怠慢ナリト云フ譴責一枚デアツレテ了ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ政府ガ直接ニヤルカラ、斯フ云フヤウナ多大ナル損害ヲ見ルト云フコトニナツテ居ル、故ニ吾々ハ斯フ云フヤウナコトハ政府ガ決シテ營ムモノデアナイト思フ、サウシテ一面ニ於テハ此何百萬圓ノ收入ニ掲ゲテアル、一面ニハ今ノヤウナ澤山ノ俸給ヲ取ルトコロノ枝手或ハイロ／＼ナ備トカ、サウ云フ者ガ澤山居リマスカラ、之ニ要スルトコロノ經費モ實ニ多大デアリマスカラ、サウ云フモノヲ差引イ

タナラバアノ下ニ掲ゲテアルトコロノ六七百万圓ノ金ガ頗ル怪シイノデアアル、思フニ何百万圓ノ森林收入トシテ豫算ニ掲ゲテアルモノハ、其年ニ賣上ゲタルトコロノ私ハ額デアラウト思フノデアリマス、サウシテモウ一ツハ此政府ノ仕事ハ豫算ヲ先以テ極メマシテ、サウシテ仕事スルノハ是ガ甚ク宜クナイノデ、總テノ事業、何ノ商ヒテモ需要ト供給ノ途ヲ圖ツテコソ、其價格ヲ保チ得ラレルノデアアルガ、額ヲ先以テ極メマシテ、サウシテ物品ヲ供給スルノデアアルカラ、値段ガ下レバ下ル程高ク之ヲ提供シナケレバナラヌト云フコトニナルノデアアルカラ、材木ヲ安クシテ其結果ガ民業ニマテ及ンデ來ルト云フコトニナツテ居リマスカラ、ソレデハ多大ナル民業ニ壓迫ヲ加ヘルト云フコトニナルノデアリマス、サウシテ此間早川君カラカ政府委員ニ質問シタトキニモ此製材事業ヲ廢メルカ、斯ウ云フ質問ニ對シテハ今直チニ廢メルコトハ政府ハ望マナイ、ソレハ此大火災等アル時分ニハ、價格ノ調和ヲ圖ルタメニ政府ガ其物品ヲ提供シテ、サウシテ價格ノ調和ヲ計ルコトニスル、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル、所ガソレガ非常ニ間違テ居ル、事實ガ非常ニ違テ居ル、現ニ大阪ノ大火ノ如キ、深川大火ノ如キ、立派ナ事實ヲ示シテ居ル、政府ガ其事ニ氣付イタ時ニハ民間テハ既ニ澤山ノ持テ來テ居ルカラ非常ニ安クナツテ居ル、現ニ神田ノ大火ナドモ安イ價格ト比較的安ク拂下ケヤウト思フデモ、申込ノ少イヲ見テモ民間ノ價格ヲ調和スルヤウナコトニナツテ居ラヌ、ソコデ素人ハア、云フ大火ノ時分ニハ寧ロ材木ガ高クナルカヤウニ思ヒマスガ、ソレハ反比例デアアル、一面ニアレバケノ火事ガアルト建築スベキ仕事ヲ延ベル、延ベレバ爲メニ一般ノ需要ガ少ナクナル、サウ云フ時ハ却テ下ル、サウ云フ風テ役人ノ仕事ハ所謂普ノ士族商賣トシテヤルカラ悉ク失敗シテ居ル、又其他此材木等ニ付テ殆ド兒戲ニ類シタヤウナ諸君ノ御笑ニナルヤウナ仕事ハ多クアリマスケレドモ、サウ云フコトヲ長ク申シマスコトハ却テ時間ヲ潰スノデアリマスカラ其事ハ止メマ

ス、免ニ角ソレデハ之ヲ止メタラドウスルカト云フナラバ、森林ハ直チニ樹木ノ儘ヲ以テ拂下ケテシマフ、サウシタナラバ收入ハ確カニ得ラレル、サウシテ多數ナル冗員ヲ陶汰スルコトガ出來テ、サウシテ千何百万圓ノ資金ヲ他ニ轉用スルコトガ出來ル、斯ウ云フ利益ガアル上ニ尙之ヲ民間ニ仕事ヲサセタナラバ營業稅ト之ニ對スル所得稅、斯ウ云フモノヲ更ニ得ラレル、結局兩得ノ方法ナリト私ハ信ズルガ爲メニ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙詳細ハ委員ニ御付託ニナラバ、其委員會ニ於テ十分ニ述ベマス、ドウカ御贊成アラントラ

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕(聲起ル)
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ其如クニ決定シマス、日程第八、田畑地價修正ニ關スル建議案、吉田虎之助君

第八 田畑地價修正ニ關スル建議案(吉田虎之助君外三名提出)
田畑地價修正ニ關スル建議案
田畑地價修正ニ關スル建議案
現今ノ田畑地價ハ明治ノ初年制定セシモノニシテ偏重偏輕甚キモノナリ其ノ後政府再

度之カ修正ヲ爲シタリト雖單ニ机上ノ見ヲ以テ特ニ高價ト認ムル地方ニ對シ僅ニ割引セシニ過キサルヲ以テ國民ノ負擔ハ依然トシテ公平ヲ缺ケリ政府ハ速ニ之カ調査ヲ遂ケ根本的改正ノ案ヲ具シ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議
〔吉田虎之助君登壇〕
○吉田虎之助君 諸君、本案ハ昨年本議會ニ於テ可決サレシマシタ案デアツテ、茲ニ詳細ノ述ベル必要ハナイト思ヒマス、テ簡單ニ其理由ヲ申上ゲマス、現在ノ田畑地價ナルモノハ御承知ノ通り、明治ノ初年ニ於テ各藩ノ石高ヲ基礎トシテ拵ヘタモノデアアル故ニ、其偏重偏輕アルコトハ明瞭デアアル、而シテ其石高ニ對シテ掛ケタル石代ハ一石五圓以上ノ場所ト、一圓ソコノ場所トアルノデアアル、而シテ其石代ガ其後國運ノ進歩ニ伴ッテ交通機關ガ行キ互リマシタ結果、唯今デハ石代ニ此ノ如キ差異ハナイノデアアル、故ニ益、偏重偏輕ヲ感ズルヤウニナツテ居ル、其後明治二十二年二十二年特別地價ノ改正ガ出來マシタケレドモ、是ハ地所ノ最モ高キ所ノミヲ割引シタノデアアツテ、決シテ充分ノ修正ガ出來タモノト申セヌノデアリマス、唯幾分カ偏重偏輕ヲ輕メタト云フニ過ギヌノデアリマス、其後明治二十七八年ノ戰役後非常ニ地租ガ高マツタ爲メニ益、此偏重偏輕ヲ感ズルコトヲ深カラシメテ居ルノデアアル、昨年ノ所得稅ノ調査ヲ見マシテモ地價百圓ニ對シテ百圓ノ收入ノアル所ト地價百圓ニ對シテ二十二圓シカ收入ノナイ所トアル、昨年ノ本案ノ委員會ニ於テ政府ハ其不公平ガ非常ニ甚シキト云フコトハ認メテ居ル、認メテ居ル、ケレドモ之ヲ修正スルニ付テハ數千萬圓ノ金ヲ要ス、又非常ニ日數ヲ要スルタメ政府ハ贊成スルコトガ出來ナイト云フテ居ル、此金額ニ付テハヤリ方ニ依テハ六七百万圓ヲ確ニ出來ルト云フ私ハ考テ有ツテ居ル、既ニ政府ハ偏重偏輕ガアルト認メタ以上ハ、賦ニ厚薄ナク民ニ勞逸ナカラシムル御詔勅ニ對シテモ、ドウカシナケレバナラヌ事ト存シマス、故ニ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、ドウカ御贊成アラントラ希望シマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ其如クニ決定シマス、日程第八、田畑地價修正ニ關スル建議案、吉田虎之助君

第九 酒類釀造試驗所増設ニ關スル建議案(武藤金吉君外三名提出)
酒類釀造試驗所増設ニ關スル建議案
酒類釀造試驗所増設ニ關スル建議案
關西ニ酒類釀造試驗所一箇所ヲ増設セララルカ若ハ各稅務監督局ニ釀造技師ヲ増員セラレムコトヲ望ム

〔武藤金吉君登壇〕
○武藤金吉君 提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマス、本案ハ關西ニ酒類釀造試驗所ヲ一箇所増設致シマシテ、又更ニ各稅務監督署ニ此釀造技師ヲ増員スルト云フ建議案デアリマス、御承知ノ通り我國ニ於テ稅金ノ最モ多額ナルモノハ酒造稅デアリマス、今ヤ

九千万圓ニ垂トシテ居ルニモ拘ラズ、此好稅源ニ向テ國家ハ何等ノ保護獎勵ト云フモノ、途ハ出來テ居ナイノデアリマス、唯僅ニ府下ノ瀧ノ川村ニ釀造試驗所ガ一箇所アルノミデアリマス、此ノ如ク多額ノ稅金ヲ上テ居ルニモ拘ラズ、普ク全國ノ一萬有餘ノ酒造業者ニ恩典ヲ與ヘテナイト云フコトハ、如何ニモ殘念デアリマスカラ、酒造業ノ最モ盛ニナル造石數ノ最モ多キ關西地方ニ、此釀造試驗所ヲ設ケナイト云フノガ本建議案ノ主意デアリマス、何卒御贊成アラシムコトヲ希望シマス

○松田源治君 本案ハ第一ノ日程、酒造稅法改正案ト同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ第一ノ日程、酒造稅法改正法律案ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、次ハ日程……

○根岸峯太郎君 議長……

○根岸峯太郎君 是ヨリ國稅徵收法ノ委員會ヲ開キタイ、許可ヲ……

○議長(大岡育造君) 前ニ申シマシタ通り、既ニ許可ニナラズ居リマス

○根岸峯太郎君 サウデスカ、ソレデヤ國稅徵收改正案ノ委員諸君ハ、第七委員會ニ御集リテ願ヒタイ

○議長(大岡育造君) 日程第十、鐵道速成ニ關スル建議案、佐々木文一君

○佐々木文一君 此次ノ十一モ本員ノ提出デアリマス、同時ニ説明ヲ致シタイと思ヒマス

○議長(大岡育造君) 日程十一モ同ク鐵道速成ニ關スル建議案デアリマス、同時ニ説明シタイト云フコトデアリマス、許可シテ御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス

第十 鐵道速成ニ關スル建議案(佐々木文一君外二名提出)

鐵道速成ニ關スル建議案

鐵道速成ニ關スル建議案

一 岐阜縣下岐阜市ヨリ同縣下多治見町ニ至ル鐵道
右ノ東海道鐵道岐阜ヨリ分岐シ中央鐵道多治見連絡スル鐵道ニシテ現ニ豫定線タリ而シテ該線ハ產業ノ發展交通ノ不備ヲ補フヘキ重要ナル線路ニシテ急設ヲ要スルモノト認ムルニ付政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

第十一 飛騨鐵道速成ニ關スル建議案(佐々木文一君外二名提出)

飛騨鐵道速成ニ關スル建議案

飛騨鐵道速成ニ關スル建議案

一 岐阜縣下太田ヨリ飛騨國高山町ヲ經テ富山縣下富山市ニ至ル鐵道
右鐵道ハ產業ノ發展交通ノ不備ヲ補フヘキ東海道鐵道ト北陸道鐵道トヲ連絡スル橫斷線ニシテ急設ヲ要スルモノト認ムルニ依リ政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ相當ノ處置ヲ

執リ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

(佐々木文一君登壇)

○佐々木文一君 日程第十ノ鐵道ハ、明治二十八九年頃カラ中央線ノ幹線トシテ設計サレテ居リマス岐阜及多治見間ノ鐵道ニナラズ居リマス、鐵道院ノ調査ニ據リマシテモ幹線ノ未成線ノ部ニ這入テ居リマシテ、其哩數ハ僅ニ二十哩、是ガ出來マスト東京カラシテ、ズット名古屋ニ出デズシテ岐阜ニ出テ關西ノ方ニ往カレル重要ナル線路デアアルデゴザイマス、此線路デゴザイマスカラシテ、是ハ是非至急ニ建設ヲシテ貫ヒタイト云フノガ本案ノ趣意デゴザイマス(「贊成々々」ト呼ブ者アリ)十一ノ方ハ今ノ十ノ議案ノ鐵道線路ノ中ノ太田ト云フ所カラ岐ノ成マシテ、飛騨國高山町ヲ經テ富山縣下富山市ニ至ル鐵道、是モヤハリ政府ノ幹線トナラズ居リマスノテ、幹線ノ未成線ニナラズ居リマス、此事ニ付キマシテハ飛騨國ハ御承知ノ如クマルデ鐵道ト云フモノハゴザイマセヌノデ、是ハ越中ノ方ノ議員諸君、即チ野村君ナド、其他ノ諸君モ深ク此鐵道ノ早ク完成スルコトヲ希望シテ居ラレル次第デゴザイマス、此兩案共速ニ政府ガ建設致シマセヌニ、諸君、御贊成ヲ請ヒマスデアリマス

○松田源治君 兩案共一括シテ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ兩案共一括シテ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第十二、鐵道建設ニ關スル建議案、長晴登君

(長晴登君登壇)

○議長(大岡育造君) 大分込ミマスケレドモ日程第十七、野岩羽鐵道線建設ニ關スル建議案モ同シク鐵道ニ關スル建議案デアッテ長君ノ説明スベキ案デアリマスカラ、此處デ同時ニ説明スルコトヲ許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ同時ニ説明スルコトヲ許可致シマス

第十二 鐵道建設ニ關スル建議案(長晴登君外一名提出)

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

一 宮城縣下白石ヨリ分岐シテ山形縣下上ノ山ニ接續スル鐵道
右鐵道ハ宮城縣下白石福島方面ヨリ仙臺鹽釜方面ヨリ山形縣下上ノ山及山形方面トノ各種貨物ノ運輸並一般交通機關トシテ必要ナルノミナラス其ノ經由地ニ於ケル森林、礦物、原野ノ利用開發上及石炭、海產物ノ輸送上最必要ナル橫斷線ナリ依リテ政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ建設ニ著手スヘシ

第十七 野岩羽鐵道線建設ニ關スル建議案(日下義雄君外七名提出)

野岩羽鐵道建設ニ關スル建議案

野岩羽鐵道建設ニ關スル建議案

一 栃木縣下今市ヨリ分岐シ福島縣下田島若松ヲ經テ山形縣下米澤ニ接續スル鐵道

右ハ奥羽線及岩越線ヨリスル東京ニ對スル線路ヲ短縮シ枋木福島山形ノ三縣ニ於ケル森林礦物ノ開發上最急ヲ要スルモノト認ム依リテ政府ハ相當ノ措置ヲ採リ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○長崎登君 日程第十二ノ案ハ昨年齋藤二郎君ノ提出ニナリタメテ案デゴザイマシテ、昨午ハ院議之ヲ可決シテ居リマス次第デゴザイマス、本線ハ舊奥羽ヨリ陸羽ノ方ニ、諸侯ノ通路ニ當ルトコロノ白石ヨリ上ノ山ニ達スル昔ノ間道デゴザイマス、其處ニ橫斷線ヲ作リテ以テ兩地方ノ聯絡ヲ保チ、又其間ニ於ケルトコロノ遺利ヲ開發シタト云フ趣意デゴザイマスカラシテ、ドウツ宜シク御贊成ヲ願フ次第デゴザイマス、日程十七ノ野岩羽鐵道線、是ハ政府ニ於テモ既ニ調査ガ充分進シテ居リマシテ、此鐵道ヲ敷設スレバ即チ今市ヨリ日光ヲ經テ福島縣下田島町ニ到リ、尙若松ヲ經テ米澤市ニ達スル鐵道デゴザイマスガ、斯クスレバ奥羽線ヨリ東京ニ至ルニハ非常ニ距離ハ短縮致シマシテ、而シテ御承知ノ如ク此經由ノ地方ハ東奥ノ最モ中央ニ位スルガタメニ、其土地ニハ礦物森林等ノ遺利ハ最モ多イ土地デゴザイマシテ、且又其線ニ依リテ既成ノ鐵道ニ尙便利ヲ與ヘルコトハ、丁度板谷ノ線路ハ二十分ノ一ニシテ、其輸送力ハ甚ダ缺乏シテ居ルガ、此線ハ全線四十分ノ一以上ニ相成リマシテ、其爲ニモ非常ニ便利ナ線デゴザイマス、又岩越線ガ既ニ通シマシタケレドモ、此岩越線羽越沿岸線ト奥羽線トハ殆ド直角ノ形ヲ以テ橫斷シテ居ルタメニ、是ハ中央ノ帝都ニ出ル上ニ取ツテ、甚ダ遠イ線デゴザイマス是等ノ線ヲ活カシテ用ユル上ニ取ツテ、必要ト信ジマスカラ、ドウツ御審議ノ上御協贊アラントラ願ヒマス

○松田源治君 兩案共一括シテ日程第十ノ鐵道速成ニ關スル建議案ト同一委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡有造君) 松田君ノ御發議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(大岡有造君) 御異議ガナケレバ松田君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十三結核豫防ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、丸尾光春君

第十三 結核豫防ニ關スル建議案(丸尾光春君外四名提出)

結核豫防ニ關スル建議案

結核豫防ニ關スル建議案

政府ハ速ニ結核豫防ノ施設ヲ爲スヘシ
右建議ス

(丸尾光春君登壇)

○丸尾光春君 建議ノ理由ヲ少シク敷衍致シマス、成ベク簡單ニ要點ノミヲ述ベマス、ドウツ少シク時間ヲ拜借致シマス、此結核病ノ病症ハ既ニ諸君ノ御熟知ノコトデゴザイマスカラシテ、今更申述ベマセヌ、唯此蔓延ノ狀況ノ梗概ヲ述ベテ置キマス、此結核病ハ諸君モ知ラル、如ク四季ヲ問ハズ所ヲ選バズ、且長年月ニ亙ル慢性病デアリマスカラシテ、又最モ的確ナル治療法ガナイノア、長幼貴賤ヲ問ハズ侵襲ヲ蒙ルトカ、是等ガ蔓延ノ主因デアリマス、此病名ヲ醫師ヨリ宣言サル、トキハ、患者ハ死刑ノ宣告ヲ受ケ

タル如キ感想ヲ抱クノデゴザイマシテ、誠ニ此診斷ヲ下スコトニ躊躇スルノハ人情ノ然ラシムルトコロト私ハ思ヒマス、而シテ内閣ノ統計ニ依ルニ——統計ヲ此處ア申上ゲマスト冗長ニ互リマスカラシテハハ速記者ノ方ニ週シテ略シマスガ、明治三十二年ヨリ四十二年マデノ十箇年間ニ於テ、此患者數ハ漸次ニ増加シテ參リマシテ、明治三十二年ニハ肺結核其他ノ結核ノ死亡數ハ六万七千五百九十九人デアリマシタガ、漸次増進シテ明治四十二年ニ於テハ十一万三千六百二十二二人ニナリテ居リマス、人口増加ニ依リテ除算シマスケレドモ、非常ニ増加ノ數ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、東京市ノ如キハ人口一万ニ付三十一人餘ヲ示シ、全國ニ於テハ平均一人ニ付二十二人餘ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、故ニ全國中現ニ總死亡者、十「プロセント」ハ殆ド結核病ノ死亡者デゴザイマス、又最モ寒心ニ堪ヘザルハ更ニ壯年者ノ死亡數ノ約三分ノ一ハ、結核病ト云フモ過言デナイノデアリマス、右ノ統計數字ニ依リマシテ之ヲ推算シマス、十年ノ平均死亡率ガ七万六千餘人ニナルノデゴザイマス、國家ノ設ケテ居ル法定傳染病、即チ室埃斯、虎列拉、赤痢、「ベスト」、實扶的里、「バラ」室埃斯、天然痘、猩紅熱等ノ法定傳染病ノ十年ノ平均數ハ、二万二千餘人デアリマスカラ、實ニ結核死亡者ノ數ハ之ニ三倍ノ死亡者デアルノデゴザイマス、而シテ國家ハ年々國庫補助トシテ此法定傳染病ニ向ツテハ二十餘萬圓ヲ支出シテ居リマスガ、此結核即チ二倍ノ多キ死亡率ノアル結核病ニ向ツテハ、未ダ補助費ヲ出シテ居ラヌノデゴザイマス、故ニ此十年平均即チ一年ノ死亡率七万六千八百餘人ニ依リマシテ、彼ノ「コレネット」法ニ依テ推測シマス、我國ノ結核罹病者數ハ一年ニ四十萬位ニ達シテ居ルノデゴザイマス、最近肺結核死亡者ハ一年二十萬餘人、其他ノ結核死亡者ハ三萬ヲ超エテ居リマス、之ヲ推算シマス、我國ノ結核患者ノ總數ハ實ニ七十五萬人餘ニ達スルノデゴザイマス、尙之ヲ種々ナル點ヨリ想像致シマス、八十萬人ニ達スルコトハ間違ナイノデゴザイマス、今假ニ患者一人一日ノ療養費ガ平均七十錢ト致シマス、一箇年ニ此積算ガ二億四百餘萬圓ニナルノデゴザイマス、又患者一日一人ノ生産スルモノノ二十錢ト假定シマシタナラバ、一箇年ニハ八千七百餘萬圓ニ達スルノデゴザイマス、之ヲ前後合シマス、二億九千九百萬圓ニナリマス、即チ約三億圓ノ現在國家ノ損失トナルノデゴザイマス、國家ハ年々結核患者八十八萬人アル故ニ、一年ニ三億圓餘ノ損失ヲ被ルノデゴザイマス、然ルニ豫防法ヲ講ズレバ必ズ其效ガアルノヲ證スルコトヲ得ルノハ、英國ノ如キハ七十年前ニハ人口一萬ニ付テ三十八名ノ死者アリシモ、即今ハ十二人ニ減シテ居リマス、亦獨逸ノ如キモ二十年前一ハ八口一萬ニ對シテ二十名乃至三十二名ノ死亡者ガアリマシタガ、近年ハ十六人ニ減シテ居ルノデアリマス、故ニ今ニ於テ其豫防法ヲ行ハザレバ、遂ニハ莫大ノ數ニ上ツテ、救フベカラザル慘害ノ域ニ達スルノデゴザイマス、現今ハ百人ニ付テ一人半ノ結核患者ノ數デアリマスガ、之ヲ此儘放棄シテ置キマスレバ、遂ニハ五十八人ニ一人トナリ、三十八人ニ一人トナリ、即チ百人集マレバ三人ノ結核患者ガアルト云フヤウナ有様ニ近キ將來ニ達セントシテ居ルノデアリガ故ニ、此際政府ニ於テ是ガ豫防策ヲ講ズルノガ最モ急務中ノ急務ナリト自分ハ信ズルノデゴザイマス、近時我國ノ衛生家ニ於テモ是ガ豫防法ニ注意セラレ、赤十字ニ於テハ一箇年間ニ二十八萬圓ヲ支出スルコトヲ決議シテ居リマス、又東京ニハ日本結核豫防會ト云フモノガ出來マス、大阪ニモ京都ニモ是ガ豫防會ノ組織ヲ見ルニ至ッタノデアリマスガ、是等民間ノ篤志家ノミニ委ネズ、政府モ此際大

ニ力ヲ盡スノ必要ガアリマスル、如何トナレバ此疾患ヲ此儘放置シマスレバ農事モ工業モ軍隊モ、總テ衰頹シテ無能力ニ陥ルノ虞ガアルノデアリマス、唯我政府ハ明治三十七年ニ豫防法ニ關スル内務省令ヲ發シシタケレドモ、殆ド是ハ形式ニ止テ是ガ厲行ニモ努メヌノデアリマスル、故ニ此際諸君ハ私ノ此建議案ニ贊成セラレ、一日モ早ク政府ニ結核豫防ニ對シテノ方法ヲ講ゼシムルコトヲ希望スルノデアリマス、ドウカ贊成ヲ請ヒマス(贊成ト呼フ者アリ)

(參照)

年次

肺結核死者

其他結核死者

明治三十二年

五五、九二八

一一、六六一

同 三十三年

五九、五二五

一一、二四六

同 三十四年

六二、〇〇二

一四、六一二

同 三十五年

六五、九九三

一六、五六六

同 三十六年

六七、七二二

一七、四二〇

同 三十七年

六九、一〇七

一八、一五三

同 三十八年

七六、〇六一

一九、九六九

同 三十九年

七五、四六九

二〇、六〇〇

同 四十年

七五、五五四

二一、〇六四

同 四十一年

七六、五八九

二二、二八二

同 四十二年

八一、六二二

二〇、九九九

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレレントコトヲ望ミマス
 (異議ナシ異議ナシ)ノ聲起ル)

○議長(大岡有造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレマス——日程第十四、朝鮮ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者濱本義顯君

第十四 朝鮮ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案(濱本義顯君提出)

朝鮮ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案
 朝鮮ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案

我カ邦紡績業ノ發達ニ伴ヒ棉花ノ需要ハ倍々多大ナルモノアルニ内地本土ニ在リテハ其ノ產出絶無ニシテ全部之ヲ海外ニ仰クノ實狀タリ貿易上ニ於ケル輸入超過ノ一因亦實ニ此ニ在リト謂ハサルヘカラス幸ニ朝鮮南部ニ於テハ棉花ノ栽培ニ適スル地域甚廣ク之カ獎勵宜シキヲ得ハ以テ其ノ一大生産品タルノ望ミ的確ナルコトハ既往七箇年ニ於ケル試驗ノ明ニ證スル所ナリ然ルニ政府ノ之ニ對スル措置ヲ見ルニ唯區々タル獎勵ヲ爲スニ止マリ施設極メテ小規模ナルヲ以テ其ノ發展甚遲緩ナルノ憾ナキヲ得ス故ニ政府ハ此ノ際之ニ對スル根本的ノ大方針ヲ確立シ速ニ其ノ發展ヲ策スルヲ要ス

右建議ス
 (濱本義顯君登壇)

○濱本義顯君 諸君、本案ニ付キマシテ説明ヲ致シタイト思ヒマスルガ、此棉花問題

ハ最モ國家ノ經濟ニ至大ナル關係ヲ有チマスノデアリマス、暫時ノ間——暫時ト云フト大變テスガ、五分バカリノ間、諸君ノ御清聴ヲ煩ハシタイ(謹聽々々)ト呼フ者アリ)此棉花ノ栽培ト云フコトニ付キマシテハ、世界各國ガ今競争シテ居リマシテ、總テ此歐米各國ノ強大國ハ皆此栽培ヲ非常ナ獎勵ヲナシテ居ルノデアリマス、既ニ此日本ニ於キマシテハ氣候風土ニ副ハヌタメニ、未ダ一俵ノ紡績機械ニ副フ棉花ト云フモノヲ栽培シ得ルコトガ出來ナイノデアル故ニ、一昨年ノ如キハ亞米利加ノ棉花商ニ依テ死命ヲ決セラレ、ト云フ状態デアアルノデス、三十圓ト云ハバ三十圓買ハナケレバナラヌ、五十圓ト云ハバ五十圓買ハナケレバナラヌト云フヤウナ、ツマリ外國ニ死命ヲ決セラレツ、アル、此悲惨ナ状態デアリマス、既ニ諸君モ御承知デアリマセウガ、獨逸ニ於テ千九百七年ト思ヒマスルガ、獨逸皇帝ガ議會ニ詔勅ヲ下シテ棉花栽培ニ極力獎勵セイト云フコトデアリマシテ、既ニ皇室費ヲ割カレテ其獎勵ニ努メラレタコトモアル、新ニ殖民省ヲ新設セラレテ、ソレガ爲メ今日ニ於テハ外國ニ此棉花ヲ求メルト云フコトガナクナリテ、非常ナ效果ヲ收メテ居ルヤウナ次第デアリマス、丁度日本ノ状態モ以前ノ獨逸ノ状態ニ稍似タヤウナ有様デアリマシタガ、獨逸ハ此ノ如キコトデアリマス、其他英國ト云ヒ亞米利加ト云ヒ、皆ソレノ如ク獎勵ヲ勵ムテ居ルノデアリマス、殊ニ露西亞デアリマス、露西亞ノ如キハ即チ我四十二年度ニ於テハ僅ニ七千万圓内外ノ綿ホカ收穫シ得ナカッタモノデアリマスガ四十二年ニナツテハ一億二千万圓ノモノヲ獲得シタト云フ有様デアアル、丁度東亞細亞方面ニ向テ極力目下獎勵ヲ爲シツアルノデアリマス、我邦ニ於テハ一俵ノ棉花ヲ得ラナイト云フコトヲタメニ、既ニ昨年ノ如キ外國カラ輸入シテ居リマスモノハ一億六千万圓ヲ算スルノデアリマス、其内六千万圓バカリハ綿糸トナリ又織布トナツテ、支那或ハ東洋ノ市場ニ輸出サレルノデアリマスガ、一億圓ト云フモノハ詰リ我國民ノ費消スルトコトナツテ居リマス、而シテ此紡績現在ノ錘數ハ二百萬錘デアアルノデアリマスガ、昨年本年ノ中ニハ尙五十萬錘ヲ増錘シテ之ニ伴フ棉花ハ一層需要ヲ増スノデアリマス、紡績業者ノ考ヘルトコロニ依ルト、兩三年ノ中ニハ三億ノ綿糸買ハナケレバナラヌデラウト云フコトニナツテ居リマス、其三億ノ綿糸買ウツテ、或ハ半ハ綿糸トナリ或ハ織布トナツテ外國ヘ出ルカモ知レマセヌ、其半ハトシテモ一億五千万圓ト云フモノハ我邦ガ費消スルト云フヤウナコトニナリマス、此状態ヲ以テ推シマスト、非常ニ國家經濟上ニ及ズトコロノモノハ甚ダ寒心ニ堪ヘヌコトデアラウト思フ、サウシテ此朝鮮ニ於ケル棉花ト云フコトニ付テハ、之ヲ栽培獎勵シマシタノハ丁度三十八年ニ當ツテ居リマス、其三十八年ニ於テ我黨ノ首領即チ原君或ハ野田君其他ノ先輩ガ、極力力ヲ致サレ、又大石或ハ犬養ト云フヤウナ人々モ之ニ力ヲ協セマシテ、伊藤統監ガ最モ之ニ盡瘁セラレマシテ、政府モ少ナカラヌ金ヲ支出シテ居リマスガ、尙ホ朝鮮ノ貧困ナル政府ニ於テモ十萬圓ト云フ金ヲ出シテ、此棉花ノ亞米利加種ヲ取寄セ試驗ヲ爲シタノデアリマス、其後棉花栽培協會ト云フモノヲ設ケマシテ、紡績業者モ多少ノ金ヲ出シタノデアリマスガ、ソレ等ノタメニ此試驗ガ濟ンデ居ルノデアリマス、臺灣ノ方ニモ棉花ガ出來ルト云フコトデアリマスガ、是ガ出來レバ誠ニ國家ノタメニ慶賀スベキコトデアリマスガ、是ハマダ試驗ガ出來ナイノデ、昨年十月ニ漸ク種ヲ時イタト云フヤウナコトデ、是ハ誠ニ反對ノコトデ、十月ニハ收穫スベキ時期デアアルノニ種ヲ時イタト云フコトデ、ソレハ何故カト言ヘハ颶風其他ノコトノ危険ノタメニ、臺灣ノ如キハ未ダ試驗ト云フコトヲ了シナイノデアアル、然ルニ朝鮮ノ如キハ

先輩諸君ノ各派ノ人ミガ非常ナ盡力ヲサレテ、少ナカラヌ金ヲ投シテ今日デハ立派ニ其成績ヲ得テ居ルノナル、之ヲバ政府ガ緩慢ニ打棄テ、置ク譯デハアリマスマイガ、棉花ト云フモノハ獎勵セントスルニハ、彼ノ重キ實績ヲ交通機關ノ不完備ナル朝鮮ニ廣ク播種セントシテモ播種スルコトガ出來ズシテ、詰リ木浦附近ノ一局部ニ對シテ播種シテ居ルト云フ事柄デ、是デハ到底我邦ノ巨額ナル需要ヲ要スルモノニ向ツテ、甚ダ成效ヲ期スルコトハ歎ハシイ次第ナル、國家ハ之ニ對シテ所謂重キ實績アルカラ、相當ノ地域ヲ定メテ、之ニ線綿工場ヲ設ケ、依テ以テ棉花ヲ栽培セシムル方法ヲ獎勵シナケレバ、僅カナ小規模ノ上ニ發展ヲ待ツナド云フコトハ今日財政困難ノ場合ニ於テ出來ナイコトデアル、暫クモ是ハ忽セニ出來ヌコト、考ヘマス、之ヲ大ニ獎勵シテ我邦ノ經濟ノ發展ヲ期シタイト思ヒマス、テ、諸君ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレコトヲ望ミマス

(二)贊成々々ノ聲起ル

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ松田君ノ動議ノ如ク決シマス——日

程第十五、樺太漁業制度改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——木下成太郎君

第十五 樺太漁業制度改正ニ關スル建議案(木下成太郎君 外四名提出)

樺太漁業制度改正ニ關スル建議案

樺太島現行漁業制度ヲ改正シ移住島民ヲシテ鯨、鰹、鮭ニ主要魚族ノ漁利ニ均霑セシムヘシ

右建議ス

(木下成太郎君登壇)

○木下成太郎君 樺太漁業制度改正ニ關スル建議案、本案ニ付テ少シク提出致シマシテ理由ヲ述ベテ見タイト思ヒマス、要スルニ此案ハ樺太ノ細民ノ救済ヲシテ、サウシテ樺太ヲ開發スルトコロノ實ヲ擧ゲタイ、斯ウ云フノデゴザイマス、願ミマスルト樺太占領以來今日ニ於テ殆ド八年間、國家ガ樺太島ニ投シテ居リマストコロノ國帑ハ、約二千万圓ヲ投シタリデアルマス、而シテ今日樺太ノ人口ハ約三万人ニナリマシタ、此三万人ノ人間ニ對シテ國家ハ二千有餘萬圓ノ金ヲ投シタト云フコトニナルノデアリマス、而シテ現在ノ樺太島民一人ニ付テ國家ハ七百圓宛ノ金ヲ今マデニ費シテ居ルト云フ都合デアルノデアリマス、其三人ノ中デ二万人ガ今日救済ヲ要求致シテ居ルトコロノ零細ナ民デアルノデアリマス、然ルニ端ナクモ樺太島民二万人ノ者ト、樺太ノ行政廳トノ間ニ衝突ヲ來シ、而シテ此救助ノ途ガ講セラレヌヤウナ都合カラシテ中央ノ問題トナリ、併セテ私共ガ諸君ノ御同情ニ訴ヘテ此建議案ノ成立ヲ冀フ所以デアリマス、凡ソ國ヲ開キマス順序ト致シマシテ、北海道ハ固ヨリ樺太ノ開發致シテ行ク其成行ヲ見マス、此沿岸カラシテ段々開ケテ參リマシテ、サウシテ最初漁民ガ漁業ヲ致シ、其漁民ガ又農業ヲ兼テ、農業ト漁業ト兼業致シマシテ段々農業上ニ於テ土地ノ改良ガ出來、而シテ土地ニ適當ナル種子ト云フモノガ見出サレマシテ、初メテ農業バカリニ從事スルト云フヤウナ都合ニナルノデゴザイマス、故ニ此沿岸漁業ノ時期ハ確ニ未開ノ時代デアルコトハ西洋ノ歴史ニ依ツテモ總テ證シテ居リマスノミナラズ、日本ニ於ケル北海道ノ四十五年間

ノ歴史ハ、之ヲ能ク證明致シテ居ルノデアリマス、然ルニ先般樺太長官カラシテ此樺太漁業制度ノ改正ト云フコトニ付テハ、漁民及同情セラレルトコロノ諸君カラ請願ガ出テ居リマス、ツレニ對スル長官ノ辯明ニ依リマス云フコト、今日ノ樺太ハ一網制度デアリ、而シテ現在モ將來モ一網制度デ之ヲ抑通シテ行キタイト云フ御意見デアルヤウニ承リマシタ、然ルニ果シテ一網制度ナルモノガ、今日ノ時代ノ要求ニ適合致シテ居リマスルカ否ヤト申シマスル、般鑑遠キニアラズ、既往ニ於ケル北海道四十五年ノ事歴ニ徴シマスルト、一網制度ニ依ツテ之ヲ將來マデモ持チ堪ヘルト云フコトハ出來ヌノデゴザイマス、漁業ノ進歩ノ模様ヲ見マスル、沿岸漁業ナリ近海漁業ツレカラ遠洋漁業ト、斯ウ云フ都合ニナルノデゴザイマス、具體的ニ申シマスル、最初ニハ建議ヲ使フ、曳網ヲ使フ、ツレカラ進ミマシテ刺網ト云フヤウナモノニナリマス、或ハ阿線ト云フモノニナリマス、或ハ手線ヲ使フト云フコトニナリ、或ハ八坂デアルトカ、「ゴチ」デアルトカ、巾著ト云フヤウナ、ツレ等ノ漁具ガ漸次ニ發達シテ使ハレテゴザイマス、ツレガ民ガ不足ノ時分ニハ所謂沿岸漁業ノ建網デゴザイマスルカ、曳網デアリマスルカト云フコトハ、謂ハレガナイヤウニ私ハ信ズルノデゴザイマス、此問題モ新シイ問題デアツテ、而シテ古イ問題デアル、此練ノ凡ソ棲息地ト云フモノハ、世界ノ漁業學者水産學者ガ寄リマシテ、サウシテ永年ノ間研究ヲ致シテ居リマスレドモ、練ノ棲息地ト云フモノガ今日ニ於テモ尙且探檢セラレヌノデアルノデゴザイマス、或諾威ノ水産學者ハ、練ノ棲息地ハ太陽ノ黑點ニ向イテ居ル所ガ、即チ練ノ棲息地デアルト斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、日本ニ於ケルコロノ水産學者ハ未ダ其點マデモ能ク攻究スルコトヲ居リマセヌノデ、日本ニ去來スルトコロノ此練ト云フモノハ、ドノ方面カラ來ルノデアルカ、常ニ日本ニ來ルトコロノ練ト云フモノハ、ドノ方面ニ棲息シテ居ルデアラウカト云フコトモ分ラズ致シマシテ、諸君モ御承知ノ如ク今日農商務省ガ多大ノ金ヲ使ツテ、サウシテ練ノ棲息地ノ探檢ヲ致シテ居ルヤウナ都合デアルノデゴザイマス、私共ノ信シマスルコロデゴザイマスルコト云フコト、北海道ノ從來ノ歴史カラ申シマスルト、練ノ此游泳魚ニ屬シテ居リマスルコトノ種類ハ、是ハ大ナル棲息地ガアツテ、而シテ之ヲ獲リマシタカラト云フテ此練ガ滅ルト云フコトハ絕對ニナイモノト信ジテ居ルノデゴザイマス、實例ヲ申シマスル、北海道ニ於テ開拓使以來四十五年ノ間、練ノ産額ガ約一千三百万圓アルノデゴザイマス、個人々々ノ分配ニ於キマシテハ頗ル一箇統、一箇統ノ漁業權ニ當テマスルト減リマスルケレドモ、北海道ノ總産額ノ上ニ於テハ一千三百万圓ト云フ、此金ト云フモノハ些トモ四十五年ノ間ニ於テ減退ヲ致シテ居ラヌノデゴザイマス、テ言葉ヲ換ヘテ申シマスル、北海道ニ於ケル東ノ方ガ不漁ノ時分ニ於テ、西ノ方ニ於テ大漁ヲ爲シ、南ノ方ニ於テ不漁ノ時分ニハ北ノ方ニ於テ大漁ヲ爲シテ居ルト云フ、斯ウ云フ都合デアリ、又部落部落ニ依リマスル、或方面ハ三年ノ間漁ガゴザイマセヌデモ、或部落ニ於テハ三年ノ間豐漁ガ續クト云フ、斯ウ云フ都合ニナツテ居ルノデゴザイマス、ツレデ大體ニ於テ此産額ト云フモノハ減ツテ居ナイノデゴザイマス、樺太ニ於テ

モ其通りテアテ、鯨ノ種類ニ於テモ同一デゴザイマスル以上ハ、北海道ノ例ヲ以テ樺太ヲ村度スルト云フコトハ、決シテ是ハ違ヒナイト私ハ信ズル、ソレト同時ニ今日ノ樺太島ニ於ケル所謂此二万ノ細民ヲ救済シ、二万ノ細民ニ職業ヲ與ヘルト云フ上ニ於テハ、何等カノ漁業ト云フモノヲ之ニ與ヘテ、サウシテ救済セム以上ハ、救済ノ途ハナカラウト思フノデゴザイマスル、同時ニ從來樺太島ニ於テ漁業ヲ致シテ居ルトコロノ建網漁業者ニ向テモ、政府ハ當然是ハ保護ヲスルガ宜シイノデアアル、一面ニ建網漁業者ヲ保護スルト共ニ、一面ニ二万ノ零細ナルトコロノ漁民ト云フ者ヲ保護スルノ途ハ、當然國家トシテ講シナケレバナラヌト私ハ信ズルノデゴザイマスル、故ニ此事ニ付キマシテハ、詳シク自説モ申述ベタウデゴザイマスル、而シテ當局者及ヒ建網漁業者ノ主張モ充分承テ見テ、何等カノ調和ヲ致シ、サウシテ樺太ノ發達ヲ圖リマスル方法モアラウト存ズルノデアリマスルガ、私ハ此案ヲ成ベク諸君モ御同情下サリマシテ、十分ナル審議ヲ遂ゲラレテ、サウシテ本案ノ成立センコトヲ希望致シマス、終ニ臨ンテ一言申シテ置キマスルガ、所謂天ノ命之ヲ性ト謂ヒ、性ニ率フ之ヲ道ト謂フデアリマス、樺太島ニ於ケル今日ノ漁民ガ此事ヲ絶叫シテ居リマスル、而シテ樺太政廳ガ之ニ向テ一顧ヲセズ、而シテ一面ニ於テ樺太島民ト樺太ノ行政廳ノ間ニ、意ガ疎隔ヲ致シマシテ、何レノ時代ニ於テ爆發スルカ、殆ド分ラヌヤウナ危険ナ状態ニアル、樺太ノ行政廳ハ民意ノアル所ヲ用非ナイ——用非ナイガ故ニ樺太島民ハ今日ハ是ハ死活ノ問題デアアル、即チ麵麴ヲ得ルカ得ラレナイカ、明日ガ日ニハ死ナ、ケレバナラヌカ、樺太島ヲ去ラネバナラヌカト云フ問題ニナツテ居ルノデゴザイマスル同時ニ、樺太政廳ハ魚ニ重キヲ置イテ、サウシテ人民ヲ輕ク視テ居ル、魚ヲ保護シナケレバナラヌカ、人民ヲ保護シナケレバナラヌカ、二者何レニ於テ斷案ヲ下サナケレバナラヌ時デアアルノデアリマスカラ、何分ニモ諸君ノ御同情ヲ願ヒマス

○福井三郎君 議長……

○武瀧義雄君 議長……

○議長(大岡育造君) 福井三郎君

○福井三郎君 本案ト同様ナル請願ガ本院ニ現ハレテ居テ、其請願ハタシカ一兩日前ニ不採擇ト決定シタヤウデアリマス、其趣意ヲ漏レ聞イテ居ルノニ、刺網ト云フモノヲ樺太漁業ニ許シタ時分ニハ、魚族ハ一網打盡ニ獲リ盡サレテシマフ、然ラバ樺太ヲ開發スル所以ノ原素ヲ失フシマフノデアアル、故ニ之ヲ許スコトガ出來テイト云フノガ、政府ノ辯明デアッタヤウデアリマスルシ、又多ク委員ノ意見デアッタヤウデアリマス、サウ云フヤウナ意味ニ於テ、其際請願ハ不採擇ト決定シタノデアリマスニモ拘ラス、幾日モ出ザルニ今又ソレト同様ナル建議案ガ此處ニ現ハレ、今水卜君ノ説明ニ依テ承ハルト云フト、樺太在任ノ三万人中二万人ノ死活ニ關スル程ノ大問題デアルト云フコトデアアル、而シテ言換ヘレバ建網ト刺網トノ争テ、建網ナルモノニ對シテ刺網ナルモノヲ使ハセズンバ、二万ノ住民ガ飢ヘルト云フヤウナ大問題デアルト云フコトデアアル、ドチラヲ聽イテ見テモ實ニ尤モナコトデアアテ、輕々ニ決定セラレヌ問題デアラウト思ヒマス、故ニ此案ノ如キハ十分ナル審議ヲ盡シタル上ニアラズンバ、豫メ贊否ノ決セラレヌコトデアアルト思ヒマスカラシテ、ドウ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、其委員ハ九名トシテ議長ノ指名アラント云フ併セテ希望致シマス

(政府委員平岡定太郎君登壇)
○政府委員(平岡定太郎君) 唯今樺太ノ漁業ニ付キマシテ刺網網曳網ヲ許スヤウニ致シタイト云フ建議ガ出マシテゴザイマス、政府ハ之ニ付キマシテハ反對ノ主義ヲ執ッテ居ルノデゴザイマシテ、其理由ノ概略ヲチヨット申上ゲテ置キタイト思ヒマス、樺太ニハ今鯨、鯨、鱒ノ三種類ヲ重要漁業ト致シマシテ、是ハ建網ト致シテ居リマス、其他ノ萬般ノ魚類ヲ捕リマスノヲ雜漁民ト致シテ居リマス、所ガ此建議ハ鯨、鱒ノ三種類ノ以外ニ許可ヲ得テ居リマス所ノ此雜漁民ガ、ドウカ今同リ期トシテ其鯨、鱒、方ヲ捕リタイ、斯ウ云フ趣旨ヲ諸君ニ御採擇ヲ得タイ、斯ウ言ッテ出テ居ルノデアリマス、元來樺太ニ於キマシテ漁制ヲ執リマシタ趣旨ヲチヨット申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此樺太ハ既ニ三十五年以前ニ北海道ハ一定ノ距離ニ一定ノ建網ヲ置キ、ソレニ刺網モ混セル、斯ウ云フ制度ヲ執テ居リマス、明治ノ今日ニ至ッテハ漁類ガ餘程不足ヲ生ジテ來マシタカラ、北海道ノ最大距離ニ於テ二倍ノ距離ヲ樺太ヲ取ッテ見タイ、モウ一ツニハ此刺網ト建網ノ混合制度ニ對シテ、一網制度ニシタイト云フノガ漁制ニナツテ居リマス、所ガソレヲ漸次殖ヤシテ參リマス、ドウアッテモ此建網ノ間ニ持ッテ行ッテ刺網ヲ入レルト云フコトハ、一網制度ニナルカライカヌト云フコトデアアル、今日マア味ヘテ居リマシタガ、此建議者ノ方ノ趣旨ハ此ニ在ルノデアリマス、ドウモ再々交渉致シマシタガ、要ハ成程建網ト刺網ヲ混合スレバイッテ頻繁ニナツテ、魚族ノ繁殖ニ幾分ノ影響ヲ及ボスト云フコトハ自分モ知ッテ居ルガ、僅カ一万五千カ二萬ノ人民ガケニ許シテシマツテ、今後來ル所ノ雜漁民ニハ許サヌヤウニシタラ宜イデハゴザイマセヌカト云フノガ先方ノ趣旨デア、然ルニ私ノ方デハソレハイカヌ、一網制ヲ苟モ一網制ニ變ヘタ 其曉ハドウナルカト云フト、般鑑遠カラズ眼ノ前ニアルノデ、四十二年ニオ前サン達ニ二十九箇所ノ網ヲヤッタデハナイカ、サウスルト其當時オ前サン達ノ戸數ハ千三百戸デアアル、所ガ四十六年ニハ期ノ更新時期デアラカト云フコトヲ見込シテ、四十四年ニハ二千四百戸ニナツテ來タ、ソレガ四十五年ニハ二千八百戸ニナツテ來タ、皆テ是ハ内地カラ來ル所ノモノデア、苟モ此制度ヲモウ少シ緩メマス、漸次内地ノ人ガ來ルノデアアル、來ルノデアアルカラ其當時ハドシナ手配ニシテアツタカト云フト、各府縣知事ニ向ッテ現在居ル雜漁民ニハ是ガケノ均霽ヲ與フルケレドモ、今後來ルモノニ對シテハヤラヌ譯ニナツテ居ルカラ、寄越シテ呉レマスナト云フ通牒ヲシテアル、ソレニモ拘ラズ三百戸ノモノガ四十五年ニハ二千八百戸ニ及ビマシタ、若シ之ヲ現在ノ雜漁民ニ御許シ下ススタラ宜カラウト云フ說ニ同意ヲ表シテ、此一網制ヲ解キマシタラ、直チニ三四年ノ中ニ五千六百戸内地カラ入ッテ參リマス、一網制度ト北海道ノ約二倍ノ距離ト止メタイト云フ制度ノ一ツノ制度ガ、スッカリ崩レテ、諸リ北海道ト全ク總テノ點ニ於テ同シ事ニナツテシマフ、唯北海道ト樺太ノ漁制ハ違ヒマスノデ、今申ス通り距離ノ一倍ニナツテ居リマスノト、北海道ハ一網制度デアルトノ制度タケカ違フニ拘ラズ、此制度ヲ北海道ト全然同様致シマシタラバ、北海道ノ爲政者ガ二十五年前ニ立テタ距離ト、樺太ノ施政ノ局ニ當ル者ガ今日執ル所ト同ジモノニナル、魚ノ保護上斯ウ云フコトハ宜シクナイト云フコトニナツテ居リマス、一方ニ於テハ中央ヨリ頻々斯ウ云フ命令ガ來マス、開拓ハ利源ヲ保護シ、ソレニ調和ヲ保テ、開拓ヲシテ貫ハナケレバナラヌ、若モ利源ノ調節ヲ破リ樺花一朝ノ夢ニ利源ヲ開キ、一時ハ餘程立派ナ人民ガ入り澤山ナ戸數ガ入ッテモ、直ゲニソレ樺花一朝ノ夢ト化シマフデアラウ、サウスレバオ前

ハ開拓ヲシニ行クノハナクシテ開拓ヲ破壞シニ行ク譯アルカラ、ソレハセヌヤウニスベシト云フコトヲ頻々ト中央カラ言ハレテ居リマス、此訓令ト今自分共ノ局ニ當テ執ツテ居ル趣旨ト、此建議案ノ趣旨ハ、大ニ衝突致シマス次第デアリマスカラ、ドウカ願クバ之ヲ御採擇ナラヌヤウニ希望致シタイデアリマス

○武瀧義雄君 私人提案者ニ御尋シタイデアリマスガ、唯今様々御説明ガアリマシタケレドモ、此建議案ニ直接利害ヲ有テ居ルヤウナ説明ハ、多ク聴カナカッタヤウナ感シガスルデアリマス、私ハ能ク存シマセヌガ此建議案ニ掲ゲテアリマス所ノ鯨鱒鮭ノ魚族デアリマス、此魚族ノ繁殖ノ途ハ如何ニスルノガ一番適當ナ方法デアアルカ、又此魚族ノ獲達ト云フ上ニ於キマシテ、如何ナル組織ニシテ如何ナル方法ヲ以テ漁業ヲ爲サシメタカ、一番利益アルモノデアリマセウカト云フコトヲ承テ見タイ、本建議案ハ唯今或限ラレタル人ガ、或限ラレタル網ヲ以テ捕ルヤウニナラシメテ居ルノヲ、移住島民ガ之ニ均霑スルヤウナ言葉ヲ換ヘテ申シマス、移住島民全體ヲシテ此漁業ヲ望ムナラバ皆許シテヤッタ方が宜イト云フコトニナラシメテ居ル、ソレハ此漁業ノ發達又其魚族ノ繁殖ト云フコトハ決シテ一致シナイモノデアアル、斯ウ云フ考ヲ以テ居ルデアリマスガ、其邊ノ事ニ付テハ提案者ハ語テ痛切ニ、詳ニ實際ノ事理ガ分ラナカッタヤウデアリマス、私共ノ考テハ成程漁民モ保護セネバナラヌケレドモ、漁業ノ發達ヲ期スル上ニ於テハ相當ノ保護制限ヲ置クト云フコトガ實際ノ上ニ於テ必要ナ事デアアルト思フデアリマスガ、ソレガ若シ移住島民全體ヲシテ此漁業ニ從事セシムルト云フコトニナラシメタカ、如何ナル組織ニナサシメ、又網ノ敷其方法等ニ制限ヲ設ケテクテモ差支ナイデアリマスガ、ソレ等ノ事ノ御説明ヲ得テ、幸ニ私ノ感ガ釋ケルヤウデアレバ仕合アルト思フデアアル

○木下成太郎君 唯今ノ御尋ニ御答致シマス、魚族ノ繁殖保護ハ申スマデモゴザイマセヌ、漁業法及ビ農商務省令ノ諸重要物産同業組合其他デ以テ、魚族ノ繁殖保護ト云フコトハイクラデモ出來ルデアリマス、例ヘハ漁區ト漁區トノ間ニ於ケル現在樺太デアリマス、建網漁業ヲ致シテ居リマス其地域ト地域トノ間ニ於テ禁漁區ヲ設ケルノモゴザイマセウ、而シテ漁業ヲ致シテ居リマセヌ方面ニハ、禁漁區ヲ設ケルノモ宜シウゴザイマセウ、此繁殖保護ノ方法ハ、自ラ今日ノ樺太ニ於テ充分ナル途ヲ講ズルコトガ出來ルト信シテ居リマス、北海道ニ於テハ全道到ル所殆ト無數ノ網ヲ建テ、永遠ニ向テ漁業ノ發達ヲ圖ッテ居ル所デアリマスカラ、今日ノヤウニ發達ヲ致シマセヌ、樺太ニ於テソレ等ノ繁殖保護ノ方法ヲ講ズルコトハ容易デアラウト思ヒマス、ソレカラ一、發達スルカセヌカト云フ御尋ノヤウニ思ッテ居リマシタガ、勿論樺太ノ漁業ト云フモノハ、今日以後ニ於テモ十分ニ發達スルノデアリマス、尙發達サセシケレバナラヌデアリマ

ス、ソレカラ二、漁民ノ現在樺太ニ在住シ及ビ將來來ル所ノ漁民ニモ漁業權ヲ均霑スルノデアリカヤト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、勿論均霑スルノデアリデ、農業一途ヲ以テ目的トシテ參ル者ハ除キ、沿岸ニ移住スル者ハドウシテモ漁利ニ依テ其日ノ生活ヲ營ンデ、而シテ一家族ヲ養ハナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ數ノ免レザル次第デアリマスカラ、農業一途ヲ目的トシテ來マシル者、及ビ漁業ト云フモノヲ嫌ヒテアル民ヲ除ク外、此漁業權ノ均霑ト云フモノハ當然受ケル、而シテ其方法等ニ至ッタナラバ、或ハ漁業組合或ハ水産組合ガ其權利ヲ持ッテ其地區其部落ニ住居スル者共ニ、共同シテ漁業權ヲ獲得スル方法モゴザイマセウシ、或ハ其他幾ラモ其方法ハアルト思ヒマス

○議長(大岡育造君) 福井三郎君ヨリ委員付託ノ勸諭ガ出テ居リマスカラ、之ニ向ッテ決ヲ採リマス、本案ヲ委員ニ付託スベシト云フ勸諭ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數ト認メマス、依テ本案ハ委員付託ニ決シマス、數ハ福井君……

○福井三郎君 九名ノ委員ニ付託ヲシタイト云フ考テ、議長ノ指名ニ御願シタイ

○議長(大岡育造君) 議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議アリ〕ト呼ブ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス

○副議長(關直彦君) 次ハ日程第十八、教員檢定委員會ニ關スル建議案之ヲ議題ト致シマス、柏原文太郎君

第十六 教員檢定委員會ニ關スル建議案(柏原文太郎君外四名提出)

教員檢定委員會ニ關スル建議案
教員檢定委員會ニ關スル建議案
明治二十三年二月勅令第三百二十五號教員檢定委員會官制第二條ノ常任委員及臨時委員ハ官立學校長教授助教等ト文部大臣ノ許可セル專門部高等師範部ノ設ケ有ル私立學校長ノ推薦ニ係ル教職員トヲ以テ平分ニ採用シ其ノ職權及待遇ヲ同等ニスルコト但シ臨時委員ハ右ノ採用法ニ據リ試驗學科目毎ニ之ヲ任命スルコトトスヘシ

右建議案
(柏原文太郎君登壇)

○柏原文太郎君 本案提出ノ理由ヲ申述セマス、從來私立學校ハ幾多ノ人材ヲ出シマシテ、國家社會ニ貢獻シテアル事ガ多クニ拘ラズ、政府當局者ハ免角官立ノ學校ヲ重シマシテ、潤澤ナル國費ヲ之ニ投シ、優逸ナル特權ヲ以テ之ガ獎勵ニ努ムルニ拘ラズ、私立學校ニ免角煩瑣ナル檢束ヲ加ヘテ毫モ其保護獎勵ヲ加ヘナイヤウナ傾ガアリマス、然ルニモ拘ラズ政府ノ設立シテアリマス所ノ學校ニ於テハ、此中等教員即チ中學師範學校高等女學校等ノ教員ニ常ニ不足ヲ告ゲマシテ、之ガ爲ニ教員檢定委員會ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、此規則ニ依ッテ況ク民間ヨリ教員ヲ採用スルト云フ組織ニナラシメテ居リマス、此教員檢定委員會ノ規則ニ依リマスルト、會長、主事、臨時委員、常任委員ト云フモノガアリマシテ、ソレガ檢定ノ事務ヲ管掌シテ居ルデアリマスガ、其委員ノ選擇ハ悉ク官立即チ文部省ノ直轄學校ノ校長、教授、助教等ヨリ採用致シマシテ、一モ私立學校ノ教員等ヨリ採用シテアルモノハ無イデアリマス、ソレ故ニ往々此試驗問題等ニ就キマシテモ非難ヲ醸シマシテ、民間ニ於テモ新聞等ニ於テ始終其試驗ノアル毎ニ非難ノ聲ガ起ルト云フ有様デアリマス、是ハ全體アマリ狭小ナル範圍カラ其委員ヲ採ルガ爲ニ、往々ニテ學說等ノ差異ガアリマシテ、其ノ爲ニ不平ヲ醸スヤウナ結果ニナルデアリマス、專門學者ノ說ニ於キマシテハ、必ズ甲ノ非トスル所ト、乙ノ非トスル所ハ一致シナイヤウナ事ハ往々アリマス、況ヤ無試験檢定ノ資格ノアル者モ、悉ク此文部省

官報號外 大正二年三月二十二日 衆議院議事速記録第十三號 教員檢定委員會ニ關スル建議案

直轄學校ノ教授助教授等ニ依テ檢定ヲサレルト云フヤウナ有様デアリマスノデ、往々此不平等起ル、ソレ故ニ今日ハ成ベク學問ト云フヤウナモノヲ廢シテ、況クハ公平ニ此委員ヲ選定致シマスルコトハ、他ノ學制ノ方ニ於テモ大ニ唱道サレル所デアリマスガ、是ハ同等ニスルト云フノデハナイ、私立ニ於テ養ハレタ所ノ學生、若クハ私學ニ於テ養ハレタ所ノ受驗者、其數ハ年々三千二百人乃至四千人位ノ人數ガアル、其者ヲ試驗スルニ一モ私立ノ相當學校ノ教職員ヲ採用シナイト云フコトハ、教育ノ聯絡上ニ於キマシテモ將又教育行政ノ公平ヲ保ツト云フ上カラモ、頗ル缺點アラウト思ヒマス、ソレ故ニ今日ハ文部大臣ノ奏請ニ依ッテ、内閣ニ於テ採用サレル範圍ニ於テ、私立學校ノ教職員中ニモ相當ナル學者ガアル、又政府ニ於テモソレヲ認メテ教職員タルコトヲ認可シテアル以上ハ其者ヲ採用致シマシテ、之ニ同等ノ權利待遇ヲ持タシテ、サウシテ此檢定ヲ完全ニサシタイ、サウスル事ガ日本ノ教育行政ノ公平ヲ保チ完全ヲ保ツ所以デアラウト思フ、是レ本案ヲ提出致シマスル理由デゴザイマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 松田君ノ議長指名九名ノ委員ニ付託ト云フニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(關直彦君) ソレナラバ左様ニ決定致シマシタ、次ハ日程第十八、第十九、第二十、何レモ鐵道速成ニ關スル建議案デアリマスルガ、二案共同一委員ニ付託シテアリマシタノデ、一括シテ議題ニ供シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(關直彦君) 左様ナラバ一括シテ議題ト致シマシテ、委員長ノ報告、中倉万次郎君

第十八 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修君外二名提出) (委員長報告)

第十九 鐵道建設ニ關スル建議案(川原茂輔君外八名提出) (委員長報告)

第二十 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君外四名提出) (委員長報告)

○副議長(關直彦君) 委員長ガ居ラレナイヤウデアリマスカラ、之ヲ次ニ延シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(關直彦君) ソレナラバ次ニ延シマス、日程第二十一、港灣政務統一ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ許可致シマス——藏内君

〔居リマセヌ〕ト呼フ者アリ
○副議長(關直彦君) ソレナラバ是モ延期ヲ致シマス、次ハ日程第二十二、陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長石黑磐君

第二十二 陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案(石黑磐君外三名提出) (委員長報告)

○石黑磐君 特別委員會ニ付セラレマシタ此幼年學校廢止ノ建議案ニ對シマスル委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、再應政府委員ニモ詳密ニ委員會ニ於テハ質問ヲ致シマシテ、事情モ審カニ致シマシタ、政府委員ハ之ニ對シテハ不同意ヲ表シマシタ、其不同意ガ少シ辯ジテ置キマセヌト分リマセヌカラ申シテ置キマス、不同意ガ理由ノナイト云フコトニ付テチヨット申シ置キマス、中學校卒業生竝ニ準中學卒業ノ學力ヲ備ヘタル者カラ試驗的ヲ以テ採用スルモノト、幼年學校卒業生ヲ士官候補生ア這入ッテ行クモノト、其數ハ昨年アタリデハ中學校ノ方ガ多イノデス、所テ理事者ハ政府委員ハ斯ウ云フコトヲ言ヒマス、此幼年學校ハ所謂陸軍ノ中樞タルベキ人物ヲ造ル所デアアル、即チ言ヒ換レバ幹部員タル人物ヲ養成スル所デアアルカラ是ハ廢サレヌ、斯ウ云フノデアアル、一應理窟ハ尤モダ、ソレナラバ何故ニ中學校ノ人間ヲ用ユルノカ、是デ足リルノデアアルカ、是ハ士官候補生ト云フモノガ、第一全部ノ士官候補生ナルモノヲ製造スルノデアアルカ、斯ウ申シマスト或ハ費用ノ點ガ云々トカ、費用ハ是非トモ要ルモノナラハ國庫トシテ仕拂ヒマスルノニ、二十万ヤ二十万ハ敢テ壓フ譯ハナイノデ、ソコテ理由ガ如何ニモ薄弱テ政府委員ノ反對說ハ之ヲ拒ムマデノ理由トハ見ルニ足ラナイノデゴザイマス、ソレ故ニ本委員會ニ於キマシテハ、此中學校ノ卒業生準卒業生ヲ以テ採レバ足リルノデアアル、然ル以上ハ特殊ノ學校ヲ今日多大ノ費用ヲ以テ設ケテ置クノ必要ハナカラウ、又茲ニ申シ置クノハ、此學校ハ中央幼年、地方幼年、合シマシテ一年ニ五十八人、採用シマシテ二年生マデ、スカラ、即チ百五十八人、凡ツ九百人ノ生徒デアアル、九百人ノ生徒ニ凡ツ二十二万幾ラノ金ヲ使ッテ居ル、隨分贅澤ノ學校デス中央幼年ノ方ガ二十四万——殆ド四十七八万ノ金ヲ幼年學校——中央幼年地方幼年併セテ使ッテ居リマス、今日國家ガ財政ノ急ヲ訴ヘッ、アル場合ニ、斯ノ如キ多大ナル費用ヲ使フノデアアルカ、其必要ハナイト斯ウ云フコトテ原案ヲ可決シマシタ、ソレカラモウツ理事者ニ斯ウ云フコトヲ尋ネタ、多少此地方幼年學校生徒ト、或ハ中央カラ出テ來ル生徒トノ間ニ軋轢ガアリハシナイカ、斯ウ云フ質問ヲシマシタラ、ソレハ軋轢云々ハナイケレドモ學問ト云フコトノ弊ハ多少ゴザイマス、斯ウ云フ話デアアル、サウ致シマスト非常ナル害ヲ生ズル、學問ノ弊ガアレバ其處カラ出タ人ハ他ノ方ヲ壓迫スルトカ云フ傾ガゴザイマスカラ、既ニ政府委員ガ多少其弊アリト認メル位ノ事情デゴザイマスカラ、寧ロ其弊ヲ去ッテ純然タル——費用モ澤山掛ラズ中學卒業生準中學卒業生ヨリ採ルガ適當デアラウ、又陸軍ノ爲ニモ宜カラウ、斯ウ云フヲ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、宜シクドウゾ

○吉田虎之助君 本案ハ委員長報告ノ通り可決決定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○副議長(關直彦君) 吉田君ノ動議、委員長ノ報告通ニ採用スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ採用ニナリマシタ、次ニハ日程ノ第二十二、信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告若杉喜三郎君

第二十二 信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案(佐野喜平太君外四名提出) (委員長報告)

〔若杉喜三郎君登壇〕

○若杉喜三郎君 委員會ノ經過過ニ結果ヲ御報告申シマス、委員會ハ二回開キマシテ、委員ヨリ詳細ナル質問ニ希望ヲ述ベテ政府ニ尋ネマシタ、而シテ政府委員ハ大體ニ於キマシテハ同意ヲ表シテ居ラシマシタケレドモ、是ハ決シテ金問題、アハナクテ寧ロ技術上ノ問題デアラフ、開鑿ノタメニハ或ハ機械ノ運轉ノタメニハ一定ノ限度ガアリマスカラ、到底甚シク年度ヲ縮メルト云フコトハ困難デアルト云フコトデゴザイマス、併ナガラ機械ノ運轉宜シキヲ得マシレバ、或ハ一箇年位ノ短縮ハ出來得ルカモ知レヌト云フコトデアリマシタ、故ニ委員會ハ十分ナル活動ヲ望ミマシテ、本案ヲハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○吉田虎之助君 本案モ委員長報告通り可決決定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 吉田君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ是モ採用ニナリマシタ、其次ハ日程第二十四ヨリ四十四ニ至ル請願ヲ一括シテ議題ト致シマス、委員長植場平君

〔植場平君登壇〕

○植場平君 唯今議題トナリマシタル日程二十四ヨリ四十四ニ至ル各案ニ對シマシテハ、請願委員會ハ慎重審議ノ結果、何レモ至當ノ請願ト認メマシテ採擇ラスルコトニ決定ヲ致シマシタ併セテ請願委員會今日迄ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、請願委員會ニ於キマシテ當初ヨリ受理致シマシタ件數ガ二百四十九件デアリマシテ、其中一昨二十日ニ報告ヲ致シマシタノガ百十件デアリマス、其後審査ノ結果採擇スベキモノト意見ヲ付シテ報告致シマシタノガ十八件、採擇スベカラズト決シタモノガ一件、政府ニ參考トシテ送付スベキモノト決定致シマシタモノガ六件、同種ノ請願デゴザイマシテ、既ニ院議決定致シマシタモノト同様ナモノデ、議決ヲ要セズト決定致シマシタモノガ一件、未了ノモノガ百十二件デアリマス、サウシテ本日報告ヲ致シマシタモノガ二十二件デアリマス、此段御報告ヲ申上ゲマス

○副議長(關直彦君) 唯今委員長ヨリ報告ニナリマシタル日程二十四乃至四十四ノ請願ハ採擇ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ全部採擇ト決シマシタ

〔左ノ特別報告(請願)ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

第二十四 特別報告第二十六號

第三十八號 小湊村郵便局設置ノ請願 鹿兒島縣川邊郡東加世田村小湊六百番戸平民農田中嘉吉外四名呈出(紹介議員志々目藤彦君)

有餘人口約四千小學校、寺院、巡查駐在所等ヲ有スル大部落ニシテ人馬ノ往來物貨ノ集散繁ク從テ信書ノ往復多シ依テ本村ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十五 特別報告第二十七號

第四十一號 求名村三等郵便局設置ノ請願 千葉縣山武郡公平村長石井貫一外四名呈出(紹介議員加瀬禮逸君)

右請願ノ要旨ハ千葉縣山武郡公平村外二箇村ヲ集配區域トシテ公平村未名區ニ郵便局ヲ新設セラレルコトノ必要ナルハ同地方民ノ夙ニ唱フル所ニシテ曩ニ房總線成東東金間ノ連絡ト共ニ其ノ中間ニ位スル求名驛ヲ開始セラレルニ至リシヨリ右郵便局ノ設置ハ愈急ヲ要スルニ至レリ依テ前記三箇村ヲ集配區域トシテ求名區二三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十六 特別報告第二十八號

第四十二號 坂部村郵便局設置ノ請願 靜岡縣榛原郡坂部村長福代國太郎外八十五名呈出(紹介議員青地雄太郎君)

右請願ノ要旨ハ靜岡縣榛原郡坂部村ハ郡ノ中央ニ位シ大字坂部ハ燒津堀之内往還ノ要衝ニ當リ近時産業ノ發達ト共ニ通信交通愈頻繁ヲ加フ然ルニ管轄局タル靜波郵便局トノ距離遠キハ三里ハ二渡リ或ハ山林ヲ隔テ時ニ風雨ニ遭フテ泥濘ヲ步行セサルヘカラサル等其ノ不便甚シ依テ坂部村ヲ一區域ト爲シ大字坂部ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十七 特別報告第二十九號

第四十三號 大崎町無集配郵便局設置ノ請願 東京府荏原郡玉川村大字奥澤五百七十五番地平民農毛利秀五郎呈出(紹介議員高木正年君)

右請願ノ要旨ハ東京府荏原郡大崎町ハ近來都市ノ發展ニ伴フテ其ノ面目ヲ一新シ加フルニ品川町ヨリ荏原郡中部ニ達スル補助府道ノ閉鎖ノ爲從來品川町ヲ中心トセルモノト轉シテ大崎ニ集マルコトト爲リ大崎停車場附近ハ將ニ百貨集散ノ地ト爲ラムトス隨テ附近ノ町村カ此ノ地ニ郵便局ノ設置ヲ渴望スルコト愈切ナルニ至レリ依テ同町大字居木橋小字本村耕地四百九十二番地ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十八 特別報告第四十號

第四十五號 新宿村郵便局電信架設ノ請願 群馬縣山田郡桐生町大字新宿村三百七十七番地平民機業木村偉三郎外十八名呈出(紹介議員武藤金吉君)

右請願ノ要旨ハ群馬縣山田郡桐生町大字新宿外三箇村ハ各種織物工業地ニシ

テ工場ノ重ナルモノ五百二十餘ヲ算シ其ノ製産額一箇年約一千萬圓ノ多キニ達ス然ルニ電信局ノ設備ナク遠キハ二里餘近キハ二十餘町ヲ距ツル桐生新町電信局ヨリ集配セラルルカ爲往々商機ヲ逸スルニ至ル快テ右新郵便局ニ電信ヲ架設セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十九 特別報告第四十一號

第六十二號

八川村郵便局設置ノ請願 島根縣仁多郡八川町大字下横田二百五十番地平民長谷川善五郎呈出(紹介議員 飯松隆慶君)

右請願ノ要旨ハ島根縣仁多郡八川村ハ戸數五百ヲ有スル大村ニシテ出雲ヨリ備後ニ通スル要路ニ當リ往來頻繁ニシテ貨物ノ集散頗ル多シ殊ニ大字下横田ハ商業盛ニシテ通信ノ事務益多キヲ加フ然ルニ郵便局所在地タル横田村ニ遠ク不便尠カラス依テ八川村大字下横田ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十 特別報告第四十二號

第九十五號

高田區裁判所八木出張所設置ノ請願 奈良縣高市郡八木町長 上田耕作 外六名呈出(紹介議員 八木逸郎君外二名)

右請願ノ要旨ハ奈良縣高市郡八木町村數十餘人口五萬一千餘土地反別四千九百餘町步地價百八十餘萬圓ヲ有スルニ拘ラス一ノ區裁判所出張所ナシ斯ノ如キハ實ニ全國ニ其ノ比ヲ見サル處ナリ殊ニ本郡北部ノ八木町及六箇町村ハ現在高田區裁判所ノ管轄ニ屬シ其ノ距離遠キハ三三三三不便甚ク之ヲ爲不測ノ損害ヲ被ルコト尠カラズ依テ郡役所警察署中學校測候所郵便局其ノ他諸會社銀行ノ所在地ニシテ貨物集散ノ要地タル八木町ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十一 特別報告第四十三號

第九十六號

柳生村ニ登記所出張所設置ノ請願 奈良縣添上郡柳生村長 屋敷治良吉 外十一名呈出(紹介議員 八木逸郎君外二名)

右請願ノ要旨ハ奈良縣添上郡柳生村ニハ二十餘年前登記所ノ設置アリシカ之ヲ奈良市及山邊村針ヶ別所村ニ遷サレタリ然ルニ近來世ノ進運ニ伴ヒ登記事務ノ增加ヲ來タシタルモ添上郡山間部全部ハ登記所ノ距離遠隔シテ而モ道路險峻交通頗ル不便ナリ依テ添上郡山間部五箇村ノ中央ニ位シ相互ノ交通最便利ニシテ農林學校郵便局警察分署村役場等ノ所在地ナル柳生村大字柳生ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十二 特別報告第四十四號

第九十七號 福島區裁判所北川内出張所設置ノ請願 福岡縣八女郡北川内村長木下 長太郎外一名呈出(紹介議員 樋口典常君外二名)

右請願ノ要旨ハ福岡縣八女郡北川内村及横山村ハ黒木出張所ノ管轄ニ屬スルモ北川内村及横山村ヨリ黒木町ニ到ルノ距離ハ近キモ二里遠キハ六里餘ニ及リ道路險惡ニシテ殊ニ降雨ノ際ハ殆ト通行スヘカラス故ニ一事件終了スル迄ニハ二泊或ハ三泊ヲ要シ其ノ不便甚ク今ヤ鑛業ノ發展ニ伴ヒ各種財產權ノ動搖益頻繁ナラフトスルノ時ニ當リ登記所ノ新設ハ其ノ急務タルヲ認メ依テ北川内村及横山村ヲ一區域ト爲シ北川内村ニ區裁判所出張所ヲ新設セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十三 特別報告第四十六號

第四百號

稻垣村登記所設置ノ請願 青森縣西津輕郡稻垣村 助役藤田藤左衛門呈出(紹介議員 伊藤祐一君外一名)

右請願ノ要旨ハ青森縣西津輕郡稻垣村ハ他村ノ數大字ト共ニ車力登記所及木造登記所ニ分屬スルモ登記所ヘノ距離遠ク且地勢險惡ニシテ吹雪等ニ際シテハ交通ヲ杜絶セラルルカ如キコトアリ其ノ不便甚クシキモノナラス前記稻垣村ノ登記件數ヲ見ルニ其ノ數一登記所ヲ設ケルニ足レリ依テ行政ノ都合上可能ノ最近時期ニ於テ青森縣津輕郡稻垣村ニ登記所ヲ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十四 特別報告第四十七號

第四百一號

天鹽村ニ登記所設置ノ請願 北海道天鹽郡天鹽村字海岸通九十七番地 商業中田鶴吉外七名呈出(紹介議員 東武君)

右請願ノ要旨ハ北海道天鹽郡ハ天然ノ一區域ヲ形成シ一萬五千餘ノ人口ヲ有スル大郡ニシテ近來世運ニ伴ヒ登記事務ノ増加ヲ來タシタルモ管轄局タル羽幌出張所トハ遠ク十里又ハ三十餘里ノ遠距離ニ在リ且交通不便ナルカ故ニ一事件ノ登記ニモ五日乃至十餘日ヲ費シ其ノ困難名狀スヘカラス依テ天鹽村ニ登記所ヲ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十五 特別報告第四十八號

第四百二十六號

古川區裁判所金成出張所設置ノ請願 宮城縣栗原郡萩野村長 千葉新三 郎外四名呈出(紹介議員 澤來太郎君)

右請願ノ要旨ハ宮城縣栗原郡萩野村外四箇村ハ金成村ヲ圍繞シテ隣接スル地方ナルモ若柳出張所及岩ヶ崎出張所ノ登記管轄ニ屬ス然ルニ前記各村ト前記兩出

張所トノ距離ハ遠クシテ甚シキハ七里ヲ要シ其ノ不便甚シ依テ金成村ニ古川區裁判所金成出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十六 特別報告第四十九號

山陰鐵道大森支線建設ノ請願 島根縣龜津郡大森町ハ六十三番地平民酒造業熊谷三左衛門外五十一名呈出(紹介議員石田孝吉君外一名) 右請願ノ要旨ハ島根縣龜津郡大森町ハ石見銀山ト稱スル著名ノ産銀地ニシテ區裁判所稅務署稅務所等ノ設置アリ貨物ノ聚散旅客ノ來往頻繁ナルモ山陰縱貫鐵道線路ノ測量ニ依リ豫定線路ニ編入セラレ其ノ後比較線路タル海岸線路ヲ採用セラレタル結果產業ノ發展上大打撃ヲ蒙ルニ至レリ今若山陰鐵道中仁萬村ニ設置スル停車場ヨリ大國村ヲ經テ大森町ニ至ル支線ヲ建設セハ畜三產業ノ發展ヲ促進シ富源ヲ開拓スルノミナラス此ノ支線ヲ邑智郡ノ主腦地タル川本ニ延長シ廣島ヨリ江津ニ通スル陰陽連絡ノ豫定鐵道ニ接續スルヲ得ハ交通上最有益ト爲ルヘシ依テ前記仁萬村ニ設置セラレル停車場ヨリ大森町ニ支線ヲ通シ輕便鐵道ヲ建設セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十七 特別報告第五十號

廣島江津間鐵道速成ノ請願 島根縣邑智郡川本村長寺本松若外三十七名呈出(紹介議員恆松隆慶君外一名) 廣島江津間鐵道速成ノ請願 島根縣邑智郡日貫村百五十三番地平民郡會議長山崎多助呈出(紹介議員恆松隆慶君外一名) 右請願ノ要旨ハ近時交通機關著シク發達セシモ陰陽兩道ノ聯絡ハ依然完カラス廣島江津間ノ鐵道ノ如キ未タ敷設ヲ見ルニ至ラス地方產業ノ發達上不利甚シ抑廣島ヨリ江津ノ流ニ沿テ石見國邑智郡ニ至ル一帶ハ林産物、礦物、蠶繭及畜産ノ夥多ナルコト一驚ヲ喫スヘク加之雲石一國ト廣島方面トノ交通モ此ノ線ニ據ルヘキヲ以テ百貨運輸ノ頻繁ナルコト殆ト豫期ニ倍スルモノアルヘク又軍事上ノ關係ヨリモ忽諸ニ附スヘカサルヲ觀ル依テ本線路ヲ第一期線ニ繰上テ速ニ工事ニ著手セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十八 特別報告第五十一號

湖西鐵道敷設ノ請願 滋賀縣滋賀郡堅田町長北村政男外十三名呈出(紹介議員吉田虎之助君) 右請願ノ要旨ハ近江國琵琶湖ノ西北ニ屬スル滋賀高島ノ二郡ハ其ノ延長二十餘里ニ亘リ山林ノ材田野ノ產鱒介ノ益頗ル豐高ナルニモ拘ラス之ヲ運輸スルノ道ハ單ニ一小汽船會社ノ船便ニ據ルノ外何等ノ機關ナク所謂近江ノ北海道ヲ以テ世人ニ目セラル而シテ大津驛ヨリ西近江路ヲ通シ福井縣下敦賀港ニ至ル鐵道ヲ敷設スル

第三十九 特別報告第五十二號

壽都黑松内間鐵道敷設ノ請願 北海道壽都郡壽都町大字岩崎町八番地平民小町佐吉外二百三名呈出(紹介議員內山吉太君外五名) 右請願ノ要旨ハ壽都黑松内間鐵道線ハ地勢平坦ニシテ哩數僅ニ二十哩ニ滿サレハ工費ノ多額ヲ要セサルハ勿論海ニハ豐富ナル鱒藻アリ陸ニハ蒼鬱タル森林及肥沃ノ原野アリ海陸連絡上ハ勿論地方開發上敷設最急且切ナルモノトシテ第二十六、第二十七、第二十八帝國議會ニ於テ常ニ採擇セラレタル所ナリ依テ該鐵道ノ敷設アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十 特別報告第五十三號

道木次大東間輕便鐵道速成ノ請願 松江 堅町二十一番地平民農工銀行頭取岡崎運兵衛外百二十八名呈出(紹介議員小川藏次郎君外二名) 右請願ノ要旨ハ島根縣八束郡宍道驛ヨリ分岐シテ大原郡水次町大東町ニ達スル線路ハ靈備ノ中樞要衝ニ當リ貨客ノ集散頻繁ナルノミナラス鬱蒼タル森林、蘊々タル米麥殆ト無盡藏ニシテ古來寶庫ト稱セラルルニモ拘ラス交通機關ノ設備ヲ缺ク爲文明ノ惠澤ニ浴スルコト遲ク殖産興業ノ大計ヲ實現スルコト能ハス而シテ之ヲ敷設ノ曉ニハ山陰鐵道幹線ハ素ヨリ大社支線ノ營養上最效アルモノアリ依テ右輕便鐵道速成ニ著手アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十一 特別報告第五十四號

森大沼驛間鐵道線變更ノ請願 北海道茅部郡鹿部村漁業伊藤源吾外百二十一名呈出(紹介議員木下成太郎君外二名) 右請願ノ要旨ハ本請願人等ノ各村ハ函館森村間ノ渡島半島東海岸ノ要路ニ散在シ陸路トシテハ中央村タル茅部郡鹿部村ヲ經テ大沼ニ至ル唯一ノ通路アルノミ從來各村落ノ輸出入貨物ハ多ク海路ニ賴ルニ雖其ノ主見物産タル肥料木炭硫黃其ノ他雜貨等ハ總テ馬車馱馬ニ賴ルノ狀態ニ在リテ鐵道ノ恩惠ヲ渴望スルヤ久シ而シテ又同地方ハ海陸產物ノ豐富ナルニモ拘ラス今尙發展セサル所以ハ交通ノ不便ナルニ因レリ惟フニ函館本線ハ内地諸線ト本道各線トノ連絡甚熱線ニシテ將來各線完成ノ曉ニ現下ノ森驛大沼驛間ノ如キハ急勾配ニシテ且屈曲ノ箇所多ク之ニ應スルコト能ハサルモ若シテ變更シテ前記ノ沿岸地方ヲ通セシムルトキハ地勢平坦ニシテ除雪等ノ勞費ヲ省キ汽車通行上安全確實ナリトス依テ該鐵道線路ノ變更アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十二 特別報告第五十五號

右請願ノ要旨ハ近江國琵琶湖ノ西北ニ屬スル滋賀高島ノ二郡ハ其ノ延長二十餘里ニ亘リ山林ノ材田野ノ產鱒介ノ益頗ル豐高ナルニモ拘ラス之ヲ運輸スルノ道ハ單ニ一小汽船會社ノ船便ニ據ルノ外何等ノ機關ナク所謂近江ノ北海道ヲ以テ世人ニ目セラル而シテ大津驛ヨリ西近江路ヲ通シ福井縣下敦賀港ニ至ル鐵道ヲ敷設スル

第四十二 特別報告第五十六號 第一百十三號

松澤村郵便局設置ノ請願 東京府荏原郡松澤村大字上北澤二百五十九番地平民農鈴木佐内外十二名呈出(紹介議員長島巖君外一名) 右請願ノ要旨ハ東京府荏原郡松澤村ハ一小市街ノ體ヲ爲シ新宿八王子間ノ京王電氣軌道會社ノ工事モ現ニ松澤迄軌道敷設中ニシテ交通機關完備ノ曉ハ將ニ有望ノ地タラムトシ各地ヨリ名士ノ移住スルモノ或ハ移住準備ノ爲土地ヲ買收スルモノ其ノ數ヲ増加セリ而シテ商工業ハ著ク發展シ亦益通信力ノ必要ヲ感スルモノ郵便局ハ何レモ一里餘ニシテ其ノ不便甚シ依テ世田ヶ谷、中野、布田郵便局ノ各一部ヲ分割シ前記松澤村ニ一郵便局ヲ新設シ電信電話事務ヲ開始セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十三 特別報告第五十七號 第一百十七號

神町無集配郵便局設置ノ請願 山形縣北村山郡東根町大字神町二百十四番地平民農横尾市内呈出(紹介議員細梅二郎君) 右請願ノ要旨ハ山形縣北村山郡東根町大字神町ハ北村山郡南部及西村山郡北部ノ貨物ノ集散地ニシテ與羽本線ト仙臺神町間ノ局部鐵道豫想線ト分岐驛ニシテ諸般ノ事業逐年發展セムトス然ルニ未ダ郵便局ノ設置ナク最近距離ニ在ル東根郵便局ニ至ルマテ約一里半ノ路程ヲ有シ其ノ不便甚シ依テ速ニ右神町ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十四 特別報告第五十八號 第一百十八號

上永野村無集配三等郵便局設置ノ請願 枋木縣上都賀郡永野村長茅島松太郎呈出(紹介議員石川甚作君) 右請願ノ要旨ハ枋木縣上都賀郡永野村ハ下都賀、安蘇兩郡ノ間ニ介在セル山村ニシテ北西南ノ三方ハ山岳ヲ以テ圍繞セラレ唯東方僅ニ一條ノ里道ニ依リテ下都賀郡枋木町ニ通スルノミ而シテ住民ノ大半ハ農ヲ以テ生業トシ其ノ産額ノ販路先ハ近クハ枋木町佐野町地方遠キハ埼玉縣群馬縣ニ至リ交通機關ノ完備ヲ望ムコト切ナリ然ルニ本村ヨリ管轄局タル粕尾郵便局ニ遠スルニハ二里餘ノ峠若ハ二里餘ノ山路ヲ越ヘサルヘカラス其ノ不便甚シ依テ本村大字上永野三十五番地ニ無集配三等郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

○守屋此助君 港灣政務統一ニ關スル建議案ハ、委員會ノ報告ヲスル人ガナイタメニ延ビテ居ルト云フコトデアリマスガ、今御許シ下サルナラハ私ガ代テ報告シタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ
○副議長(關直彦君) 守屋サン、代テ御報告ニナリマスカ
○守屋此助君 會期切迫ノ時デアリシ、何レノ議案モ早クシマッタ方ガ宜イカト思ヒマスカラ、御許シ下サイマスナラハ報告シヤウカト思ヒマス

○副議長(關直彦君) 御異議アリマセヌカ (異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) ヲレナラバ日程第二十一、港灣政務統一ニ關スル建議案ニ戻リマシテ、理事守屋此助君ノ報告ヲ請ヒマセウ

第二十一 港灣政務統一ニ關スル建議案(西村丹 (委員長報告) 治郎君外一名提出)

○守屋此助君 簡單デゴザイマスカラ此處カラ申シマスガ、是ハ委員會ニ於キマシテハ、日本帝國ニハ鐵道ト船ノ事柄ハ能ク政治ガ居イテ居ルガ、此港ノ事柄ニ付テ政治ガ居イテ居ラヌト云フノハ、鐵道ハ今ヨリ二十年後ニナレバ斯クノニナル、ソレ故ニ廣軌鐵道ニ拵ヘナケレバナラヌト云フマデニ政治ガ先驅ケテ政治ガ出來テ居ル、ソレカラ船ニハ造船獎勵アリ航路ノ補助金ト云フモノガアツテ、一年ニ一千万圓ノ金ヲ使フト云フ斯ク居イテ政治ガシテアル、是ニハ管船局アリ、鐵道院アリ、人才ヲ集メテアレバコソ左様ナ居イテ政治ガ出來テ居ル、之ニ反シテ港ハ所管ガ大藏省トナリ、内務省トナリ、遞信省トナリ、ソレカラ所在地方廳斯様ニ分立致シテ居ルカラ、此船ト鐵道トヲ連絡スル港ノ政治ガ荒廢致シテ居ル、然ル所ガ今ヤ東巴奈馬運河ガ開ケレバドウナルカト云フト、日本ハ此世界ノ文明ノ利器テ、利益ヲ受ケルモノニ付テ却テ害ヲ受ケテ居ル、何デアルカト云ヘハ海軍ノ擴張ト云フモノハ何ニ原因スルカト云フト、之ニ最大原因ヲ持ツテ居ル、斯様ナモノデアルカラ、ドウカ港ノ設備ヲ良クスルコトニ付キマシテハ、一日寸時モ速ニ統一ノ政治ヲシナケレバナラヌト云フトニ付テ、大體ニ於テ此建議案ヲ委員會ハ贊成致シマシタ、サウシテ唯末ノ「帝國港灣政務統一」ト云フトノ下ノ「スルコト鐵道ニ鐵道院船舶ニ遞信省アル如ク」是ダケノ字ヲ削ツテ、末ノ方ヲ「港灣ニモ速ニ全責任ヲ有スル主管衙ヲ定メ帝國港灣政務ヲ統一セラレムコトヲ望ム」斯様ニ修正シテ全會一致テ可決ニナリマシタカラ、此段御報告ニ及ヒマス

○吉田虎之助君 本案ハ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス (異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ委員長報告通り採用ニ決シマシタ、次ニ諸般ノ報告ヲ致サセマス—ソレデハ報告ガアリマセヌサウデアリマス、是デ本日ハ散會致シマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス
午後三時三十五分散會